

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・無し 9月補正・P19 (農005)</p> <p>【事業の概要】 果樹の生産拡大に必要な経費の支援を行うことで、果樹生産の総合的な振興を図ることを目的とする。</p> <p>(1) 果樹振興対策事業 (単市) 5a以上の新改植経費に対し10,000円/aを上限に補助(補助率1/2) 対象：梨・柿・ぶどう・桃・ビワ(対象品種：新品種・振興品種以外)</p> <p>(2) 鳥取梨生産振興事業 梨の新品種(新甘泉、秋甘泉)及び県振興品種の導入とそれに伴う基盤整備等経費の支援及び育成奨励。</p> <p>(3) 鳥取柿ぶどう等生産振興事業 柿の新品種(輝太郎)及び県振興品種の導入とそれに伴う基盤整備等経費の支援及び育成奨励。</p> <p>(4) 低コスト・体制強化事業 機械の共同利用体制を整備し、廃園防止・産地維持に取組むための機械導入に係る経費の支援 ※(2)～(4)の補助率は導入品種により変動</p> <p>【事業の成果】</p> <p>(1) 果樹振興対策事業(単市)：H29年度2件(ぶどう苗木等)</p> <p>(2) 鳥取梨生産振興事業：H29年度7件(新甘泉他苗木、網掛け施設)</p> <p>(3) 鳥取柿ぶどう等生産振興事業：H29年度4件(輝太郎苗木、果樹棚)</p> <p>(4) 低コスト・体制強化事業：H29年度1件(防除機械)</p> <p>平成27年度：23,828千円、平成28年度：5,976千円、平成29年度：6,262千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 果樹の栽培面積が減少している中、本事業を活用し、新品種の植栽、機械・施設の導入を進め、果樹産地を維持していく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	果樹(新品種等)の新改植面積	50%	58%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>事業実績の件数は前年よりも増えているものの、目標の指標としている植栽よりも果樹棚等の施設整備が多く目標を下回った。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>今後も継続して実施するが、導入誘導する品種や機械などの、市場ニーズ、労働生産性、付加価値などを把握し、更なる農業所得の向上につながるよう、事業内容の精査を行う必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	013800	重点施策	しごとづくり	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	農産物生産振興対策等総合支援事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	農産物生産振興対策等総合支援事業費			予算事業コード	01-05-01-03-31-30

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	ブロッコリー、アスパラガス、生姜
意図 (どのような状態 にするために)	市場等への一定量の出荷を確保し、特産品化を図る。
手段 (どうするのか)	対象作物に対する出荷奨励を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①加工品生産投資支援 ②小規模生産者生産体制整備支援 ③地域特産品出荷支援 ④ブランド農産物開発 ⑤生産規模拡大支援 ⑥残留農薬検査投資支援	①特産品生産等むらづくり支援事業 ②地場野菜生産振興対策事業 ③地域特産品出荷支援 ④生産規模拡大支援	①加工品生産投資支援 ②小規模生産者生産体制整備支援 ③地域特産品出荷支援 ④生産規模拡大支援	①加工品生産投資支援 ②小規模生産者生産体制整備支援 ③地域特産品出荷支援 ④生産規模拡大支援	①加工品生産投資支援 ②小規模生産者生産体制整備支援 ③地域特産品出荷支援 ④生産規模拡大支援	①加工品生産投資支援 ②小規模生産者生産体制整備支援 ③地域特産品出荷支援 ④生産規模拡大支援
事業費	年度別実績	①補助:5件 ②補助:0件(申請なし) ③補助:3品目 ④補助:0件(申請なし) ⑤補助:4件 ⑥補助:10キット	①補助:4件 ②補助:2件 ③補助:3品目 ④補助:4件				
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	5,950	4,904	0	0	0	
	直接経費 A	4,803	3,747	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	112	205	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	79	0	0	0
一般財源	4,691	3,463	0	0	0		
人件費 B	1,147	1,157	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	【KPI】推進品目総数	品目	目標 8	実績 8
2	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。							
	出荷量	t	目標	45	50	50	50	50
	実績			48	50	0	0	0
3	(指標の説明) ブロッコリー、アスパラガス、生姜の出荷量							
	目標			0	0	0	0	0
	実績			0	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P144（農012）</p> <p>【事業の概要】 特色ある農産物、地域・産地に適した農産物、加工品の生産拡大と産地育成を総合的に行うことで生産者等の生産意欲向上と本市の農業振興を図る。</p> <p>(1) 特産品生産等むらづくり支援事業 集落等が取り組む加工品生産に必要な機械、資材等の導入支援（補助率：2/3以内（補助金上限30万円））</p> <p>(2) 地場野菜生産振興対策事業：小規模生産者が取り組む、地場野菜の生産体制の整備に要する経費への支援（補助率：1/2以内（補助金上限30万円））</p> <p>(3) 地域特産品振興対策事業：作付拡大しているブロッコリー、アスパラガス、生姜の出荷に対する支援（ブロッコリー40円/kg、アスパラガス80円/kg、生姜5円/kg）</p> <p>(4) 野菜生産拡大支援事業：生産規模拡大に係る資材等の経費に対する支援（補助率：1/3以内）</p> <p>【事業の成果】</p> <p>(1) 特産品生産等むらづくり支援事業：4件 (2) 地場野菜生産振興対策事業：2件 (3) 地域特産品振興対策事業：ブロッコリー24t/アスパラ19t/生姜7t (4) 野菜生産拡大支援事業：4件 平成27年度：6,059千円 平成28年度：4,803千円 平成29年度：3,747千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も継続して実施。 ※その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】推進目録総数	100%	100%			
	2	出荷量	107%	100%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>効率的な事業運用に努めながら、継続的に実施を行う。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	013900	重点施策	しごとづくり	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	農産物販路拡大支援事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数	3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量	45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	農産物販路拡大支援事業費		予算事業コード	01-05-01-03-35-05

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農産物、加工品等
意図 (どのような状態 にするために)	本市の農産物の販路開拓、拡大に繋げる。
手段 (どうするのか)	関東、関西圏において農産物等のPR活動、市場ニーズや流通方法などの調査・検証を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		①農林水産物等のPR活動 ②商談会の開催による新たな販路開拓 ③誘致企業、県外企業等の農業参入の促進と産地化への取り組み	①農林水産物等のPR活動 ②商談会の開催による新たな販路開拓 ③誘致企業、県外企業等の農業参入の促進と産地化への取り組み ④地域商社等の連携による販路開拓	①農林水産物等のPR活動 ②商談会の開催による新たな販路開拓 ③誘致企業、県外企業等の農業参入の促進と産地化への取り組み ④地域商社等の連携による販路開拓	①農林水産物等のPR活動 ②商談会の開催による新たな販路開拓 ③誘致企業、県外企業等の農業参入の促進と産地化への取り組み ④地域商社等の連携による販路開拓	①農林水産物等のPR活動 ②商談会の開催による新たな販路開拓 ③誘致企業、県外企業等の農業参入の促進と産地化への取り組み ④地域商社等の連携による販路開拓	①農林水産物等のPR活動 ②商談会の開催による新たな販路開拓 ③誘致企業、県外企業等の農業参入の促進と産地化への取り組み ④地域商社等の連携による販路開拓	
年度別実績	①大阪中之島でのグリーンマーケットの実施によるPRと販路開拓(48回/年)と大阪でのPRイベント開催(2回) ②関西圏のバイヤー等を鳥取市に招致しての商談会の実施 ③企業への営業活動	①大阪中之島でのグリーンマーケットの実施等によるPRと販路開拓(33回/年) ②関西圏のバイヤー等を対象とした商談会の実施(1回) ③企業への営業活動(随時)						
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業費の内訳	事業費(A+B)		9,936	18,978	0	0	0	
	直接経費 A		6,492	15,532	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県		0	1,638	0	0	0
		地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		6,492	13,894	0	0	0		
人件費 B		3,444	3,446	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員		0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	【KPI】大手企業等とのマッチング件数	件	目標	1
			実績	1	1	0	0	0
	(指標の説明) 営業活動により大手企業等と取引が成立した件数							
2	新規販路開拓(取引成立)件数	件	目標	5	5	5	5	5
			実績	8	10	0	0	0
	(指標の説明) 販路開拓により飲食店等との新たな取引が成立した生産者の件数							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3074</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P145（農014）</p> <p>【事業の概要】 大手企業等とのマッチングによる有利販売の確立による農業所得の向上と産地育成を図る取組を行う。また、鳥取市産農林水産物のイメージアップと消費拡大・販路開拓に取組、農林水産物のブランド化と産地育成を図る。 ・大手企業との農林水産物のマッチング（誘致企業や大手スーパー等） ・企業等のニーズ調査と実需にあった産地化への取組 ・マルシェ（中之島フェスティバルター）を基点とし、関西情報発信拠点と連携した販路開拓</p> <p>【事業の成果】 ・商談会の開催による小売、飲食業等との取引成立（大手1件、その他5件） ・関西圏の飲食業等への営業活動の実施（新規取引5件） ・マルシェ（大阪グリーンマーケット）等の開催（55回/年） 平成27年度： 2, 260千円 平成28年度： 6, 492千円 平成29年度：15, 532千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、PR・営業活動の実施による販路開拓を行うとともに、誘致企業や県外企業の本市への農業参入を促進し、産地化による農業振興を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	[KPI]大手企業等とのマッチング件数	100%	100%			
	2	新規販路開拓(取引成立)件数	160%	200%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>誘致企業や県外企業等のニーズ把握に努め、有望品目の産地化を図るとともに、県外企業等の本市への農業参入を促進し、農業振興の向上を図る。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014000	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	ふるさと村推進支援事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数	3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量	45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
新規林業従事者数	6人	6人	予算事業コード	01-05-01-02-03-06	
予算	予算事業名	ふるさと村推進事業費補助金		予算事業コード	01-05-01-02-03-06

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	トットリ・アフトピア協会会員、むらづくり団体、加工グループ等
意図 (どのような状態 にするために)	四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、鳥取市のPRとむらづくり運動の活性化につなげる。
手段 (どうするのか)	年間、900便以上の目標を掲げ、継続して実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		①市報・ケーブルテレビ・市のHP・新聞等で広報 ②DMの送付 ③品目選定	①市報・ケーブルテレビ・HP・新聞等で広報 ②DMの送付 ③品目選定	①市報・ケーブルテレビ・HP・新聞等で広報 ②DMの送付 ③品目選定	①市報・ケーブルテレビ・HP・新聞等で広報 ②DMの送付 ③品目選定	①市報・ケーブルテレビ・HP・新聞等で広報 ②DMの送付 ③品目選定
年度別実績	①市報(7,9,11,3月号)に掲載。パンフレットを作成し、市内の各店舗・公共施設等に設置。 ②過去6年間の申込み者全員にDM送付。 ③品目の選定委員会を4月に開催し、選定基準に基づき選定。	①市報(7,9,11月号)に掲載。パンフレットを作成し、市内の各店舗・公共施設等に設置。 ②過去6年間の申込み者全員にDM送付。 ③品目の選定委員会を4月に開催し、選定基準に基づき選定。				
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	3,910	3,476	0	0	0
	直接経費 A	1,110	701	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,110	701	0	0	0	
人件費 B	2,800	2,775	0	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	1.40	1.40	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	ふるさと宅配便発送数	便	目標	1000
	(指標の説明)		実績	1162	882	0	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】農政係 0857-20-3232</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P139（農002）</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1 補助金名 ふるさと村推進支援事業</p> <p>2 目的 四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を「ふるさと宅配便」として届けることにより、販路を拡大し、所得向上を図る。 9割以上を県外消費者に向けて発送しており、本市と本市製品のPRに寄与している。</p> <p>3 内容 ふるさと宅配便 ①実施回数 年3回（8月、10月、12月） ②宅配品目 鳥取市で生産される農林水産物及び加工品等 ③料 金 1便当たり5,000円</p> <p>【事業の成果】 <ふるさと宅配便申込み数> H27年度 1,150便 H28年度 1,162便 H29年度 882便</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市の農林水産物のPRと販路拡大を目指し、継続して実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	ふるさと宅配便発送数	116%	88%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>特産品の生産販売促進のため、新商品の開発等事業の拡大を図っていく。また、輸送料等の増額に伴い、平成30年度のふるさと宅配便の料金を改定する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014100	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	畜産振興事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成19年度 ~ 平成29年度
	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数	3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量	45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数	6人	6人	予算事業コード	01-05-01-04-06-14
予算	予算事業名	畜産振興対策事業費			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	肉用牛及び乳用牛
意図 (どのような状態 にするために)	牛を飼養している農家の経営力の強化を図る。
手段 (どうするのか)	放牧料や配合飼料購入費等に対する支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①放牧料助成 ②素牛導入助成 ③配合飼料購入価格差 補填支援	①放牧料助成 ②素牛導入助成 ③配合飼料購入価格差 補填支援 ④大規模農場乳用牛導 入支援				
	年度別実績	①8農家 ②7農家 ③発動なし	①7農家 ②7農家 ③発動なし ④300頭				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,609	18,043	0	0	0	
	直接経費 A	1,887	17,311	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,887	17,311	0	0	0	
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	肉用牛放牧頭数	頭	目標	100	100	0	0	0
		実績		115	102	0	0	0	
	(指標の説明)								
2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P148（農020）</p> <p>【事業の概要】 優良な牛を育てる農家に対し一部助成することにより畜産振興及び地域ブランド「因幡和牛」の知名度を上げ消費拡大を図る。</p> <p>(1) 肉用牛放牧奨励事業（補助率：1/10） 公共放牧場に放牧される繁殖牛の放牧料の一部を助成する。</p> <p>(2) 肥育素牛安定導入対策事業（補助率：1/6） JAが肥育農家に肥育を目的として素牛を貸し付けた場合、導入から出荷までの利息の一部を助成する。</p> <p>(3) 肥育牛・乳用牛経営体質強化対策事業（補助率：1/20） 配合飼料の購入にあたり、当該年度の輸入原料平均価格と直近3ヶ年度の輸入原料平均価格との差額を補填する。</p> <p>(4) 大規模農場支援事業（補助率：定額（50千円/頭）） メガファームを整備した酪農家を対象に、牛導入経費の一部を支援する。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>(1) 肉用牛放牧奨励事業：102頭（7農家） (2) 肥育素牛安定導入対策事業：出荷頭数270頭（7農家） (3) 肥育牛・乳用牛経営体質強化対策事業：発動無し (4) 大規模農場支援事業：306頭（1農家）</p> <p>平成27年度： 2, 032千円 平成28年度： 1, 887千円 平成29年度：17, 311千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市の畜産振興を図るうえで必要な事業であり継続して実施するが、より効果的な事業内容となるよう検討を行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	肉用牛放牧頭数	115%	102%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>今後も継続して実施するが、畜産農家のニーズや事業効果を把握し、事業内容の精査を行う。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014200	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	林産物振興対策事業		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2104	農林水産業の振興			
目 標 の 種 別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人	予算事業コード	01-05-02-02-29-01
予算	予算事業名	林産物振興対策事業費			予算事業コード	01-05-02-02-29-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	椎茸の生産者他
意図 (どのような状態 にするために)	椎茸産地として持続的な発展を目指す。
手段 (どうするのか)	椎茸の種菌購入やほだ木購入等に対する支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①林産物振興対策事業補助金 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成	①林産物振興対策事業補助金 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成	①林産物振興対策事業補助金 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成	①林産物振興対策事業補助金 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成	①林産物振興対策事業補助金 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成	
	年度別実績	①林産物振興対策事業補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 ・椎茸施設整備助成 《実績》 支援件数 3件	①林産物振興対策事業補助金の交付 ・椎茸菌種購入助成 ・販売促進事業助成 《実績》 支援件数 2件				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,131	2,534	0	0	0	
	直接経費 A	409	1,802	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	409	1,802	0	0	0	
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	椎茸生産量	t	目標	26	26	28	28	30
				実績	26	26	0	0	0
	(指標の説明) 鳥取市におけるしいたけ生産量(乾換算)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P160（農043）</p> <p>【事業の概要】 林産物振興対策を行う。 1 椎茸の菌種購入の助成 2 椎茸の販売促進に関する助成 3 原木購入経費の助成 4 施設整備に要する経費の助成</p> <p>【事業の成果】 平成27年度 740千円 支援件数6件 平成28年度 409千円 支援件数3件 平成29年度 1,802千円 支援件数2件</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して支援する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	椎茸生産量	100%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了			<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合			<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了		
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>「茸王」の生産振興とブランド化を図るため引き続き支援する。</p>							

事務事業評価シート

事務事業コード	014300	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	集落営農体制強化支援事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2104	農林水産業の振興			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m ³	58,000m ³	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	集落営農体制強化支援事業補助金			予算事業コード	01-05-01-06-21-04

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	集落の水田面積の過半で経営等を行う計画を有する集落営農組織
意図 (どのような状態 にするために)	集落の農地を維持できる体制づくり
手段 (どうするのか)	組織が作成する計画(集落営農ビジョン)に沿った機械施設の整備等に要する経費を助成する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①集落営農ビジョンの策定	①集落営農ビジョンの策定	①集落営農ビジョンの策定	①集落営農ビジョンの策定	①集落営農ビジョンの策定	
	年度別実績	①集落営農ビジョン策定数 2 ・中大路楽農舎の機械導入経費の一部助成 1,796千円 ・岡益営農組合の機械導入経費の一部助成 2,265千円	①集落営農ビジョン策定数 1 ・用瀬町美成営農生産組合の機械導入経費の一部助成 2,684千円				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,227	4,880	0	0	0	
	直接経費 A	4,061	2,684	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,707	1,789	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,354	895	0	0	0	
人件費 B	2,166	2,196	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	集落営農ビジョン数	件	目標	2	1	1	1	1
		実績		2	1	0	0	0	
	(指標の説明) 農地の集積率50%以上を目指した集落営農ビジョンの策定が要件となっている。								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：9月補正・P21（農009）</p> <p>【事業の概要】 集落営農組織が農地集積を目標とした営農ビジョンを作成し、継続的な地域の水田農業維持するため、機械施設等の整備などを支援。</p> <p>【事業の成果】 営農ビジョンには農地の集積率50%以上を目標としており、荒廃農地対策の一環でもあり、地域農業を守る担い手として重要な役割を担っている。 ○事業の実績 平成27年度 6,377千円(2組織) 平成28年度 4,061千円(2組織) 平成29年度 2,684千円(1組織)</p> <p>【今後の課題・方向性】 農業者の高齢化が進み非農家が増える中で、集落営農の機能を今後も維持していくために、集落営農組織の法人化の促進が必要である。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	集落営農ビジョン数	100%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>新しい担い手の形の一つとなる、集落営農組織の体制強化を継続実施するとともに、併せて、集落営農組織の法人化についても同時に検討していく必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014400	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	企業等農業参入促進事業		所属名	農林水産部	農業振興課	

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2104	農林水産業の振興			
目標 の 目 標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	企業等農業参入促進支援事業費補助金			予算事業コード	01-05-01-06-21-05

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	建設業等の他分野から新規参入し、農業経営の初期段階にある企業等
意図 (どのような状態 にするために)	参入時の負担を軽減し意欲的な企業等の新規参入を促進することにより担い手不足を解消するため
手段 (どうするのか)	農業用機械施設導入経費の助成

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①農業参入企業への設備投資費用の補助	平成29年度 ①農業参入企業への設備投資費用の補助	平成30年度 ①農業参入企業への設備投資費用の補助	平成31年度 ①農業参入企業への設備投資費用の補助	平成32年度 ①農業参入企業への設備投資費用の補助	
	年度別実績	①農業参入企業への設備投資費用の補助 (製造業会社の大豆栽培に係る作業用機械、土木工事業会社の水稻・野菜栽培に係る作業用機械の導入支援)	①農業参入企業への設備投資費用の補助(29年度は実績無し)				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	10,225	732	0	0	0	
	直接経費 A	9,503	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	9,503	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	参入法人数	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
			法人	実績	2	1	1	1	1	
	(指標の説明) 他分野からの新規参入の法人数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P151（農025）</p> <p>【事業の概要】 建設業等の他分野から新規参入した企業等が農業振興に寄与することを目的とし、機械、施設の整備等を支援することによって意欲的な企業等の参入促進を図る。</p> <p>【事業の成果】 農業用機械施設整備を支援し、農業参入を促進した。 (実績) 平成27年度 9,856千円 2社(野菜工場、農業用機械等) 平成28年度 9,503千円 2社(農業用機械等) 平成29年度 0千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 担い手不足解消の一対策として、企業の新規参入を促進を行う。 なお、企業を安定的な担い手としてくためには、参入の際に事業計画の妥当性等を十分に確認するとともに、事業実施後も中途での事業撤退とならないよう、相談、指導などの取り組み強化を図る必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	参入法人数	100%	0%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	当初参入予定企業があり、関係各署との協議を経て、30年度での実施を検討中。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	本年度は実績無しとなったが、29年度参入予定企業とは現在30年度実施に向けて継続的に協議を行っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>新しい担い手(企業)の農業参入の促進により、地域農業の振興つながることが期待させることから、継続して事業実施の必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014500	重点施策	しごとづくり	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	新規就農推進事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標 の 目 標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	新規就農推進事業費		予算事業コード	01-05-01-02-10-03	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	とっとりふるさと就農舎および研修生
意図 (どのような状態 にするために)	とっとりふるさと就農舎の研修生を安定的に確保し新規就農者への移行を推進するため
手段 (どうするのか)	施設の指定管理委託や研修生の生活支援等を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①とっとりふるさと就農舎の研修生確保 ※就農意欲の高い若者を呼び込みそれらに対して研修期間中生活支援を行うことで、その定着を図り新規就農者へと育成する。	①とっとりふるさと就農舎の研修生確保 計画:2名	①とっとりふるさと就農舎の研修生確保 計画:2名	①とっとりふるさと就農舎の研修生確保 計画:2名	①とっとりふるさと就農舎の研修生確保 計画:2名	
	年度別実績	①とっとりふるさと就農舎の研修生確保 ・とっとり農業体験 2名 ・アドバイザー設置 4名 ・就農準備金支給 2名 ・住宅修繕助成 2名 他	①とっとりふるさと就農舎の研修生確保 ・とっとり農業体験 2名 ・アドバイザー設置 2名 ・就農準備金支給 0名 他 ※住宅修繕助成は29年度より廃止				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	18,815	16,675	0	0	0	
	直接経費 A	14,649	12,497	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,338	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	13,311	12,497	0	0	0		
人件費 B	4,166	4,178	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	研修生の確保数	人	目標	2	2	2	2	2
		実績		1	2	0	0	0	
	(指標の説明) 当該年度に新規に就農舎に入る研修生数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算P140（農004）</p> <p>【事業の概要】 農業者等の高齢化、減少等の問題に対応するため、県内外から就農意欲の高い若者を呼び込み、新規就農者の育成確保や円滑な就農定住を促進するための支援を行う。 また、農業後継者について、仕事を辞めて親の経営に参画しても収入増が見込めない初期段階に経済的支援を行う。</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>①とっとりふるさと就農舎指定管理料</td> <td style="text-align: right;">5,990千円</td> </tr> <tr> <td>②とっとり農業体験事業</td> <td style="text-align: right;">研修生2名（受入先2名） 3,240千円</td> </tr> <tr> <td>③就農相談員設置事業</td> <td style="text-align: right;">1名 2,114千円</td> </tr> <tr> <td>④就農アドバイザー設置事業</td> <td style="text-align: right;">2名 480千円</td> </tr> <tr> <td>⑤住宅修繕助成事業</td> <td style="text-align: right;">0名（※29年度に事業廃止）</td> </tr> </table> <p><実績></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: right;">14,193千円</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">14,649千円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: right;">12,497千円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 29年度は研修方針見直しのため研修生の確保が計画どおりにできなかった。今後更なる研修生の確保のため、生活支援の内容について充実していく必要がある。</p>	①とっとりふるさと就農舎指定管理料	5,990千円	②とっとり農業体験事業	研修生2名（受入先2名） 3,240千円	③就農相談員設置事業	1名 2,114千円	④就農アドバイザー設置事業	2名 480千円	⑤住宅修繕助成事業	0名（※29年度に事業廃止）	平成27年度	14,193千円	平成28年度	14,649千円	平成29年度	12,497千円
	①とっとりふるさと就農舎指定管理料	5,990千円															
②とっとり農業体験事業	研修生2名（受入先2名） 3,240千円																
③就農相談員設置事業	1名 2,114千円																
④就農アドバイザー設置事業	2名 480千円																
⑤住宅修繕助成事業	0名（※29年度に事業廃止）																
平成27年度	14,193千円																
平成28年度	14,649千円																
平成29年度	12,497千円																

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	研修生の確保数	50%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>研修生の確保とその育成は、本市の農業後継者及び移住定住者の確保に有効な手段であり今後も継続していく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014600	重点施策	しごとづくり	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	新規就農営農支援事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2104	農林水産業の振興			
目 標 の 種 別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人	予算事業コード	01-05-01-02-10-09
予算	予算事業名	新規就農営農支援事業費			予算事業コード	01-05-01-02-10-09

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認定新規就農者
意図 (どのような状態 にするために)	青年者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため
手段 (どうするのか)	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付等を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①新規就農者の確保 ※新規就農者確保のため、経営が不安定な就農初期に、給付金、農地賃借料助成、住居家賃助成などの支援を行う。	①新規就農者の確保 ※新規就農者確保のため、経営が不安定な就農初期に、給付金、農地賃借料助成、住居家賃助成などの支援を行う。	①新規就農者の確保 ※新規就農者確保のため、経営が不安定な就農初期に、給付金、農地賃借料助成、住居家賃助成などの支援を行う。	①新規就農者の確保 ※新規就農者確保のため、経営が不安定な就農初期に、給付金、農地賃借料助成、住居家賃助成などの支援を行う。	①新規就農者の確保 ※新規就農者確保のため、経営が不安定な就農初期に、給付金、農地賃借料助成、住居家賃助成などの支援を行う。	
	年度別実績	①新規就農者の確保 ・青年就農給付金 25人 ・就農応援交付金 1人 ・農地賃借料助成 20人 ・住居家賃助成 6人	①新規就農者の確保 ・青年就農給付金 22人 ・就農応援交付金 1人 ・農地賃借料助成 18人 ・住居家賃助成 3人				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	51,416	41,621	0	0	0	
	直接経費 A	49,250	39,425	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	43,688	35,980	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,562	3,445	0	0	0		
人件費 B	2,166	2,196	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	新規就農者	人	目標	2	2	2	2	2
				実績	3	5	0	0	0
	(指標の説明) 年度中に青年等就農計画の認定を受けた者の数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P141（農005）</p> <p>【事業の概要】 新規就農者の定着を図るため、経営が不安定な就農初期の支援策として給付金の給付や就農時の負担軽減のための農地賃借料助成、住居家賃助成による支援を行う。</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>①青年就農給付金等補助金</td> <td style="text-align: center;">22人</td> <td style="text-align: right;">30,478千円</td> </tr> <tr> <td>②就農応援交付金</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td style="text-align: right;">955千円</td> </tr> <tr> <td>③農地賃借料助成事業</td> <td style="text-align: center;">18人</td> <td style="text-align: right;">1,319千円</td> </tr> <tr> <td>④住居家賃助成事業</td> <td style="text-align: center;">3人</td> <td style="text-align: right;">625千円</td> </tr> </table> <p><実績></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>平成27年度決算</td> <td style="text-align: center;">23,528千円</td> </tr> <tr> <td>平成28年度決算</td> <td style="text-align: center;">49,250千円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度決算</td> <td style="text-align: center;">39,425千円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 就農時の負担を軽減し、経営の安定と農業への定着を図るため、事業の内容を見直しつつ継続して支援していく必要がある。</p>	①青年就農給付金等補助金	22人	30,478千円	②就農応援交付金	1人	955千円	③農地賃借料助成事業	18人	1,319千円	④住居家賃助成事業	3人	625千円	平成27年度決算	23,528千円	平成28年度決算	49,250千円	平成29年度決算	39,425千円
	①青年就農給付金等補助金	22人	30,478千円																
②就農応援交付金	1人	955千円																	
③農地賃借料助成事業	18人	1,319千円																	
④住居家賃助成事業	3人	625千円																	
平成27年度決算	23,528千円																		
平成28年度決算	49,250千円																		
平成29年度決算	39,425千円																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	新規就農者	150%	250%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>新規就農者対策は、本市の農業後継者及び移住定住者の確保に有効な手段であり今後も継続していく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014700	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	農地集積等対策事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標 の 目 標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	農地集積等対策事業費		予算事業コード	01-05-01-06-01-06	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地域の担い手、農業者等
意図 (どのような状態 にするために)	持続可能な力強い農業を実現するため、地域・集落が抱える人と農地の問題解決を図る。
手段 (どうするか)	地域において話し合いを進め、地域農業の中心となる担い手や担い手に集積すべき農地などを定めた、人・農地プランを作成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		年度別実績	人・農地プランの中心 経営体への農地集積・ 集約化を図る ①農地集積 ②人・農地プランの更 新に係る地元検討会の 実施(14地域) ③地域への担い手の掘 り起し ①農地の集積面積 56ha ②人・農地プランの地 元検討会開催 11地域 ③地域への担い手数 142名 137集落	人・農地プランの中心 経営体への農地集積・ 集約化を図る ①農地集積 ②人・農地プランの更 新に係る地元検討会の 実施(14地域) ③地域への担い手の掘 り起し ①農地の集積面積 129.5ha ②人・農地プランの地 元検討会開催 13地域 ③地域への担い手数 161名 139集落			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	49,957	41,702	0	0	0	
	直接経費 A	43,791	35,542	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	31,791	27,590	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	2,945	2,461	0	0	0
一般財源	9,055	5,491	0	0	0		
人件費 B	6,166	6,160	0	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.30	0.30	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	人・農地プラン作成集落	集落	目標 14	実績 11
2	(指標の説明) 集落において話し合いを進め、人・農地プランに計画を挙げた集落数	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P150（農023）</p> <p>【事業の概要】 全国的に荒廃農地、耕作放棄地が増加する中、将来的な農地の保全と安定した生産確保のため、担い手の規模拡大や農地の集約化及び耕作放棄地解消の一層の加速化を目的とした法律「農地中間管理事業の推進に関する法律」が平成26年3月に施行された。 これに伴い本市においては、「人・農地プラン」の作成や農地中間管理機構への農地の貸付の促進を行い、担い手への農地集積・集約化を行っている。また併せて、規模拡大を行った認定農業者に対する助成、地域の中心となる経営体の育成・確保のために法人化の取組支援を進めている。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 農地集積・集約化対策事業</td> <td>集積面積 129.5ha</td> </tr> <tr> <td>(2) 人・農地問題加速化支援事業</td> <td>プランの更新及び新規作成 11地域</td> </tr> <tr> <td>(3) 農地情報等更新等業務委託費</td> <td>600,480円</td> </tr> <tr> <td>(4) 農地流動化推進事業（対象面積）</td> <td>38ha</td> </tr> <tr> <td>(5) 農業経営力向上支援事業</td> <td>1法人、1組織</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 担い手の経営の維持や規模拡大を図り、且つ、荒廃農地の防止と利活用を推進するために、農地集積の促進が引き続き必要となる。 ※その他財源の諸収入は、中間管理事業事務受託収入。</p>	(1) 農地集積・集約化対策事業	集積面積 129.5ha	(2) 人・農地問題加速化支援事業	プランの更新及び新規作成 11地域	(3) 農地情報等更新等業務委託費	600,480円	(4) 農地流動化推進事業（対象面積）	38ha	(5) 農業経営力向上支援事業	1法人、1組織
	(1) 農地集積・集約化対策事業	集積面積 129.5ha									
(2) 人・農地問題加速化支援事業	プランの更新及び新規作成 11地域										
(3) 農地情報等更新等業務委託費	600,480円										
(4) 農地流動化推進事業（対象面積）	38ha										
(5) 農業経営力向上支援事業	1法人、1組織										

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	人・農地プラン作成集落	79%	81%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>高齢化、後継者不足により担い手への農地集積が重要課題となっており、引き続き事業を推進する必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014800	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	機構集積支援事業		所属名	農業委員会事務局 農業委員会事務局

1. 基本情報

位置づけ の 位置 づけ の 位置 づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成26年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標 の 目標 の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	機構集積支援事業費		予算事業コード	01-05-01-01-04-06	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	遊休農地等
意図 (どのような状態 にするために)	農地の生産性を高め、競争力を強化していくために遊休農地を解消するとともに担い手への農地集積・集約化を促進する。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 年2回市内全ての農地の一斉現地調査を行う。 現地調査の結果、遊休農地とされた農地の所有者等に利用意向調査を行い、利用意向調査を実施。 農業委員等の資質向上を図ることを目的に各種研修へ参加。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		①市内全ての農地の利用状況調査を実施 ②調査結果を基に遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施 ③農業委員等の資質向上を図るため各種研修会に参加	①市内全ての農地の利用状況調査を実施 ②調査結果を基に遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施 ③農業委員等の資質向上を図るため各種研修会に参加	①市内全ての農地の利用状況調査を実施 ②調査結果を基に遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施 ③農業委員等の資質向上を図るため各種研修会に参加	①市内全ての農地の利用状況調査を実施 ②調査結果を基に遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施 ③農業委員等の資質向上を図るため各種研修会に参加	①市内全ての農地の利用状況調査を実施 ②調査結果を基に遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施 ③農業委員等の資質向上を図るため各種研修会に参加
年度別実績	①実施委員数45人、管内農地7,127ha ②305件(うち所有者数252人)面積32ha ③平成28年10月西日本ブロック農業委員会職員現地研究会、平成28年12月全国農業委員会会長代表者集會に参加	①調査員88人、管内農地7,125ha ②238件(うち所有者数244人)面積27ha ③平成29年10月西日本ブロック農業委員会職員現地研究会に参加				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	7,626	11,086	0	0	0
	直接経費 A	407	1,495	0	0	0
	国・県	407	1,122	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	373	0	0	0	
人件費 B	7,219	9,591	0	0	0	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	農地の一斉現地調査の結果を受け、遊休農地の所有者に対する利用意向調査の達成率	%	目標	100
	(指標の説明) 毎年7月以降に農地の状況を調査する。指標はその調査が完了した農地所有者全員への利用意向確認の達成率。		実績	100	100	0	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 農地係 0857-20-3392</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P258（各種011）</p> <p>【事業の概要】 農地の生産性を高め、競争力を強化していくためには担い手への農地集積・集約化を加速し、生産コストを削減していく必要があることから、農地の中間的受け皿となる農地中間管理機構が設立され、農地の集積・集約化に取り組むこととされた。</p> <p>【事業の成果】 1 市内すべての農地の一斉現地調査（利用状況調査）を行った。 2 現地調査の結果、遊休農地と判定された農地の所有者等に利用意向調査を行った。 利用意向調査の実績 平成27年度 627件、面積64.4ha 平成28年度 305件、面積32.0ha 平成29年度 244件、面積26.9ha 3 農業委員等の資質向上を図るため各種研修の参加 西日本ブロック農業委員会職員現地研修会（平成29年10月・熊本市）</p> <p>【今後の課題・方向性】 農業従事者の高齢化や農業の担い手不足により遊休農地が拡大する中、担い手への農地利用の集積・集約化を促進して遊休農地の解消を図る事業であることから継続して取り組む必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	農地の一斉現地調査の結果を受け、遊休農地の所有者に対する利用意向状況調査の達成率	100%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	8月から11月にかけて管内7,127haの農地の利用状況を調査し、遊休農地と判断した117haのうち、新規に発生した26.9haの遊休農地の所有者244人に対して文書通知による利用意向調査を実施した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	目標どおり、管内全ての農地について実施した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>農業委員会法の改正に伴い、「農地利用等の最適化の推進」を行うことが重要な業務として位置付けられたことから、管内の農地を保全して地域農業を振興していくためには、遊休農地の発生を防止するとともに担い手農家へ利用集積・集約化を図る取り組みが必要である。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014901	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	林業担い手育成事業(福祉向上)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名 称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2104	農林水産業の振興			
目 標 の 種 別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	その他
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	林業労働者福祉向上推進事業負担金			予算事業コード	01-05-02-01-10-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	林業労働者、林業事業者
意図 (どのような状態 にするために)	林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り、森林整備の担い手である林業労働者を育成、確保する。
手段 (どうするのか)	(財) 鳥取県林業担い手育成財団が実施する林業労働者年金掛金助成事業(林業労働者の共済年金掛金の一部助成)に要する経費を助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成	平成29年度 ①林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成	平成30年度 ①林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成	平成31年度 ①林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成	平成32年度 ①林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成	
	年度別実績	①林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成 《平成28年度実績》 1,253千円	①林業労働者年金掛金助成事業に要する経費を助成 《平成29年度実績》 1,532千円				
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	1,975	2,264	0	0	0	
	直接経費 A	1,253	1,532	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,253	1,532	0	0	0
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	加入者数	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			人	実績	218	244	0	0	0
	(指標の説明) 林業労働者の共済加入者総数								
2		目標			0	0	0	0	0
		実績			0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3		目標			0	0	0	0	0
		実績			0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 林務係 0857-20-3235
	【10次総の施策体系】 2104
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P154（農031）
	【事業の概要】 森林整備の担い手である林業労働者を育成確保するため（財）鳥取県林業担い手育成財団が実施する林業労働者年金掛金助成事業（林業労働者の共済年金掛金の一部助成）に要する経費を助成する。 事業主体 （財）鳥取県林業担い手育成財団 負担区分 市町村 4 / 10 (県) 4 / 10 (林業団体等) 2 / 10
	【事業の成果】 平成27年度 1,254千円 平成28年度 1,253千円 平成29年度 1,532千円
【今後の課題・方向性】 継続して実施	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	加入者数	100%	111%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り林業の発展に資するため、引き続き県と同調し助成を行っていく。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	014902	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	林業担い手育成事業(雇用条件改善)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	2104	農林水産業の振興			
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数	3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量	45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数	6人	6人		
予算	予算事業名	林業労働者雇用条件改善事業費		予算事業コード	01-05-02-01-16-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	林業労働者、林業事業者
意図 (どのような状態 にするために)	林業事業者が雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、林業の担い手育成を促進する。
手段 (どうするのか)	市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対し経費の一部を助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成	①健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成	①健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成	①健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成	①健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成	
	年度別実績	①健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成 《平成28年度実績》 2,667千円	①健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対する経費の一部を助成 《平成29年度実績》 5,743千円				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,055	6,475	0	0	0	
	直接経費 A	5,333	5,743	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,666	2,872	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,667	2,871	0	0	0	
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		助成者人数	人	実績	30	30	30	30	30	
	(指標の説明) 林業担い手新規雇用者(雇用開始から5年目まで)人数									
	2	目標	0	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
3	目標	0	0	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P154（農032）</p> <p>【事業の概要】 林業事業体が雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金（農林年金）の事業主負担に対し経費の一部を助成する。 補助率 県：1/4、市：1/4（事業主体：1/2）</p> <p>【事業の成果】 健康保険、厚生年金の事業主負担に係る補助を行い、担い手育成の促進に寄与した。 平成27年度 2,752千円 29人 平成28年度 2,667千円 29人 平成29年度 5,743千円 29人</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して実施</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	助成者人数	97%	97%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>林業労働者の高齢化による担い手不足の解消のため、今後も県と同調しながら担い手育成に対する支援を行っていく。</p>		

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P164（農051）</p> <p>【事業の概要】 水産資源の維持増殖のため鳥取県漁協が行う稚貝等放流事業へ県と連携して支援する。</p> <p>【事業の成果】 1. 水産資源の維持増殖等を図った。 2. 過去の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業費</th> <th>市</th> <th>漁協</th> <th>県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>1, 576千円</td> <td>514千円</td> <td>514千円</td> <td>548千円</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>4, 641千円</td> <td>978千円</td> <td>992千円</td> <td>2, 671千円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>5, 383千円</td> <td>1, 075千円</td> <td>1, 505千円</td> <td>2, 803千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 水産資源維持増殖のために寄与していると思われるが、その効果を把握できる指標等の設定が必要と考える。</p>		事業費	市	漁協	県	平成27年度	1, 576千円	514千円	514千円	548千円	平成28年度	4, 641千円	978千円	992千円	2, 671千円	平成29年度	5, 383千円	1, 075千円	1, 505千円	2, 803千円
		事業費	市	漁協	県																
平成27年度	1, 576千円	514千円	514千円	548千円																	
平成28年度	4, 641千円	978千円	992千円	2, 671千円																	
平成29年度	5, 383千円	1, 075千円	1, 505千円	2, 803千円																	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	稚貝放流量	90%	146%			
	2	稚魚放流量	110%	115%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>水産資源維持増殖による漁業振興を図るため、県と連携しながら事業を継続する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	015101	重点施策	しごとづくり	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	とっとり発！6次産業化総合支援事業(農業振興課)		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	2104	農林水産業の振興			
目標の 種別	平成28年度	平成29年度	平成30年度	事業分類区分	その他
	3人	15人	15人	事業分類区分	その他
	45,000m3	58,000m3	58,000m3	運営方法	補助金交付
	6人	6人	6人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	もうかる6次化・農商工連携支援事業費		予算事業コード	01-05-01-03-45-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農林漁業者、法人、任意組織、農漁協、食品加工業者等
意図 (どのような状態 にするために)	元気な農業者を育成し、農林水産業の振興、経済活性化を図る
手段 (どうするのか)	6次産業化や農商工連携による取り組みに対し助成する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援 ②もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援 ②もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援 ③6次産業化ネットワークシステムの構築	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援 ②もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援 ③6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援 ②もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援 ③6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援 ②もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援 ③6次産業化ネットワークシステムの活用によるマッチングの促進	
	年度別実績	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(4件) ②もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援(1件)	①6次産業化に取組農家への計画作成等の支援の実施(3件) ②もうかる6次化・農商工連携支援事業による農家支援(1件)				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	14,722	13,810	0	0	0	
	直接経費 A	14,000	13,078	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	10,500	9,809	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,500	3,269	0	0	0
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	6次産業化取り組み農家件数	件	目標	2	2	2	2	2	
		実績		1	1	0	0	0		
	(指標の説明) 本事業を活用して、農業振興に資した農家(団体)の件数									
	2	目標	0	0	0	0	0	0	0	
実績		0	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3	目標	0	0	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P146（農015）</p> <p>【事業の概要】 農林漁業者自らが加工・製造、流通・販売までを主体的に取り組む6次産業化や、農林産業と商業・工業などが連携して商品製造等に取り組む農商工連携を推進することにより、農林漁業者の所得向上と地域経済の活性化を図ることを目的とし、事業実施主体の作成した「プラン」を実現するために必要な事業（ハード、ソフト事業）に対し助成する。 補助率 1/2（内訳：県1/3 市1/6） ※新規雇用等条件を満たせば嵩上げ補助（県1/3→県1/2）</p> <p>【事業の成果】 実績件数 1件（株式会社兎ッ兎 醸造機器設備整備 13,078,271円 （県費1/2：9,809千円、市費1/6：3,270千円）</p> <p>【今後の課題・方向性】 農家の所得アップに有効な6次産業化を進めるため、県・金融機関・商工団体等と連携した農家等の支援を行っていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	6次産業化取り組み農家件数	50%	50%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タノの入刀結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p> <p><small>※1または3の場合は、その理由も評価理由欄に入力してください。(必須)</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タノの目標達成率に照らし、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p> <p>《達成率》 《評価》 150%以上 → 1を選択 100-149%以上-150%未満 → 2を選択</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>事業活用を計画していた農業者が事業実施を延期したため、目標とする取り組み件数を下回った。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>農家の所得アップに有効な6次産業化を進めるため、県・金融機関・商工団体等と連携した農家等の支援を行っていく。また、平成29年度に構築する6次産業化ネットワークシステム（6次化バンク）の活用によるマッチングによる6次産業化の推進を図る。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	015102	重点施策	しごとづくり	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	とっとり発！6次産業化総合支援事業(林務水産課)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	2104	農林水産業の振興			
目標の 種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(義務)	
	3人	15人	運営方法	補助金交付	
	45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計	
	6人	6人	予算事業コード	01-05-03-02-32-01	
予算	予算事業名	もうかる6次化・農商工連携支援事業			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	6次産業化や農商工連携による取り組みについて意欲のある漁業者や連携する食品加工業者
意図 (どのような状態 にするために)	6次産業化や農商工連携を発展させることにより、新しい事業展開や流通改革を実現し、本市水産業の振興を図る。
手段 (どうするのか)	6次産業化や農商工連携に係る推進活動及び生産体制を含めた施設・機械の整備に対して支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画	①6次化事業の支援	①新規事業者の創出	①新規事業者の創出	①新規事業者の創出	①新規事業者の創出
	年度別実績	①販売促進活動、機器整備に係る支援	①新規事業者なし			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	788	732	0	0	0
	直接経費 A	66	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	44	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	22	0	0	0	0	
人件費 B	722	732	0	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	6次化事業件数	件	実績	1	1	0	0	0
		(指標の説明) 水産業に伴う6次化事業件数(累計)			1	1	0	0	0
	2		目標		実績	0	0	0	0
(指標の説明)					0	0	0	0	0
3		目標		実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)				0	0	0	0	0

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 6次産業化に取り組む漁業者等が実施する加工施設の整備や商品開発及び販路拡大活動に対し、県と連携し支援を行う。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 新規事業者なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 過去の推移</td> <td style="text-align: center;">事業費</td> <td style="text-align: center;">実施件数</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: center;">171千円</td> <td style="text-align: center;">1件</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">66千円</td> <td style="text-align: center;">1件</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 漁獲物の付加価値を高め所得向上につながる可能性のある取り組みではあるが、商品開発や販路確保などに要する手間を考慮すると取り組みに前向きな漁業者等が少ないため、この機運の醸成が必要。</p>	1. 新規事業者なし			2. 過去の推移	事業費	実施件数	平成27年度	171千円	1件	平成28年度	66千円	1件	平成29年度	-	-
	1. 新規事業者なし															
2. 過去の推移	事業費	実施件数														
平成27年度	171千円	1件														
平成28年度	66千円	1件														
平成29年度	-	-														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	6次化事業件数	100%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>事業実施の申請により補助事業を行うこととしているため、本年度は事業実績はないが問題はないと考える。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>事業化に至る対象者が現れなかったが、計画どおり</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>漁業者の所得向上や雇用確保など水産振興に資する取組であり、今後、前向きに実施する事業者があれば継続して支援を行う。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	015200	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	漁業担い手育成事業(漁業研修)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数	3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量	45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	漁業研修事業費	予算事業コード	01-05-03-02-33-05	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	新規就業に要する漁業技術や経営方法等の習得のため漁業研修事業を実施する漁業協同組合等
意図 (どのような状態 にするために)	漁業就業者の減少と高齢化の進行による漁業の衰退を防ぐため、若年層の漁業への新規参入を促進し、漁業振興を図る。
手段 (どうするのか)	漁業研修に要する経費を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①研修事業実施	平成29年度 ①研修事業実施	平成30年度 ①研修事業実施	平成31年度 ①研修事業実施	平成32年度 ①研修事業実施	
	年度別実績	①研修事業 雇用型 6名 独立型 1名	①研修事業 雇用型 4名				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	8,836	2,860	0	0	0	
	直接経費 A	8,114	2,128	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	7,154	1,932	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	960	196	0	0	0	
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		研修人数	人	目標	3	3	3	3	3
	(指標の説明) 漁業研修人数	実績	7	4	0	0	0	0	
2				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P165（農053）</p> <p>【事業の概要】 新規漁業就業に際し必要となる漁業技術や経営方法等の習得を目的として、漁業組合等が行う研修事業に要する経費を県と連携し支援する。</p> <p>【事業の成果】 1. 新規就業希望者に対する漁業技術等の研修に要する経費を支援 2. 過去の推移</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>事業費</td> <td>研修人数</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>4,326千円</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>8,114千円</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>2,128千円</td> <td>4人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 新規就業者の円滑な確保のため、漁業所得や労働環境の更なる向上等を図るとともに、効果的な広報活動を要する。 また、県西部に比較して新規就業者が少ないため、補助率の嵩上げ等による積極的な人員確保策の検討を要する。</p>		事業費	研修人数	平成27年度	4,326千円	6人	平成28年度	8,114千円	7人	平成29年度	2,128千円	4人
		事業費	研修人数										
平成27年度	4,326千円	6人											
平成28年度	8,114千円	7人											
平成29年度	2,128千円	4人											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	研修人数	233%	133%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>新規就業者の円滑な確保のため、広報活動が必要。 水産振興のため、県と連携し事業を継続する。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	015300	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	漁業振興対策事業		所属名	農林水産部 林務水産課	

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2104	農林水産業の振興			
目 標 の 種 別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	漁業振興対策事業費補助金		予算事業コード	01-05-03-02-33-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	湖山池漁業協同組合
意図 (どのような状態 にするために)	内水面漁業における魚種苗放流事業等を行い水産資源を維持増殖し本市水産業の振興を図るとともにレクリエーション機会の増大に寄与する。
手段 (どうするのか)	内水面漁業協同組合が実施する魚種苗放流事業の費用や組合の活動の支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①稚魚放流等	①稚魚放流等	①稚魚放流等	①稚魚放流等	①稚魚放流等	
	年度別実績	①稚魚放流等 アマサギ卵 500万粒 ウナギ稚魚 30kg	①稚魚放流等への漁協からの申請なし。				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	954	732	0	0	0	
	直接経費 A	232	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	232	0	0	0	0		
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	放流量	kg	目標	50	30	30	30	30
				実績	30	0	0	0	0
	(指標の説明) 魚類放流量								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236																			
	【10次総の施策体系】2104 【予算計上の概要】なし 【事業の概要】 水産資源維持増殖等を図るため、湖山池漁協が行うウナギ等の稚魚放流に要する経費への支援。 【事業の成果】 1. 他の有利な補助金を活用して、放流実施。 2. 過去の推移 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>事業費</td> <td>ウナギ放流</td> <td>シジミ放流</td> <td>アマサギ卵放流</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>439千円</td> <td>30kg</td> <td>262kg</td> <td>200万粒</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>232千円</td> <td>30kg</td> <td>—</td> <td>500万粒</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> 【今後の課題・方向性】 湖山池汽水化に伴う漁獲魚種の変遷に対応するために、従来の稚魚放流から、シジミ漁場の拡大・整備等による水産資源維持増殖へとシフトしていく必要がある。		事業費	ウナギ放流	シジミ放流	アマサギ卵放流	平成27年度	439千円	30kg	262kg	200万粒	平成28年度	232千円	30kg	—	500万粒	平成29年度	—	—	—
	事業費	ウナギ放流	シジミ放流	アマサギ卵放流																
平成27年度	439千円	30kg	262kg	200万粒																
平成28年度	232千円	30kg	—	500万粒																
平成29年度	—	—	—	—																

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	放流量	60%	—			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	本市の補助金を活用しないで、漁協が放流を継続。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	本市の補助金を活用していないため実績値なし。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>湖山池水産振興に資することを主眼とした水産資源の維持増殖策へ転換するため、柔軟な支援を行う。 ※H29年度は本市の補助制度を活用せずに放流事業を実施した。H30年度も当該制度は維持しつつ、活用状況に併せて見直しを検討する。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	015401	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	ため池総合整備事業(山上・水根地区)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名 称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成23年度 ~ 平成30年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	地域ため池総合整備事業実施 要綱等
	施策	2104	農林水産業の振興			
目 標 の 種 別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	山上・水根地区地域ため池総合整備事業費			予算事業コード	01-05-01-05-04-22

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用ため池
意図 (どのような状態 にするために)	老朽化の進む農業用ため池の改修整備を行い、農業者の減少・高齢化等により支障を来している日常の維持管理の省力化を図るとともに、万が一の決壊を回避し、地域住民の安心・安全な生活環境確保と農地、農業用施設等の被害を未然に防ぐ。
手段 (どうするのか)	県営事業、団体営事業により、農業用ため池の漏水、堤体浸食、取水施設等の老朽箇所等の調査、設計、改修工事等を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①ため池改修 1箇所 ②ハザードマップ作成	平成29年度 ①用地買収、補償 1式	平成30年度 ①ため池改修 1箇所	平成31年度	平成32年度	
	年度別実績	①ため池改修 1箇所 ②ハザードマップ作成	①用地買収、補償 1式				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	3,344	1,036	0	0	0	
	直接経費 A	3,200	890	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	2,500	700	0	0	0
		その他	400	111	0	0	0
		一般財源	300	79	0	0	0
人件費 B	144	146	0	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		整備済ため池数	箇所	実績	1	1	1	0	0	
	(指標の説明) ため池整備を実施し、整備完了となったため池数									
	2	目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
3	目標	0	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P169（農062）</p> <p>【事業の概要】 河原町山上及び水根に所在する5箇所のため池に対する総合整備計画を策定したが、このうち要改修と判断された2ため池を改修する。要改修と判断された馬場堤（山上地区）及び湯坂谷池（水根地区）は、取水施設の老朽化が著しく取水管理が困難になっており、馬場堤にあつては相当量の漏水、湯坂谷池については漏水に起因した堤体陥没が発生しており、早急な改善措置を行う必要がある。</p> <p>山上・水根地区地域ため池総合整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体 鳥取県 ・事業年度 平成24年度～平成30年度 ・事業箇所 河原町山上地区：馬場堤 河原町水根地区：湯坂谷池 ・総事業費 176,000千円 ・負担区分 国55% 県29% 市14%（起債充当率90%）地元2% ・事業内容 ため池改修2箇所・受益戸数 74戸（馬場堤：73戸、湯坂谷池31戸） ・受益面積 16ha（馬場堤：15ha、湯坂谷池：7ha） <p><平成29年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容 用地買収補償費 <p>【事業の成果】</p> <p style="padding-left: 20px;">平成27年度 800千円（市・地元負担金） 平成28年度 3,200千円（ 〃 ） 平成29年度 890千円（ 〃 ）</p> <p>【今後の課題・方向性】 万が一、ため池が決壊した場合、下流の農地、農業用施設、民家等の被災が想定されるため、ハザードマップの活用等により有事の備えが必要となる。 ※その他財源の負担金は、地元負担金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	整備済ため池数	100%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画に基づき、用地買収及び補償が実施され事業進捗しているため。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	事業スケジュール通りため池整備が行われているため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	ため池の決壊による人命、財産、農地等の被害を未然に防ぐため、引き続き整備を進める。		

事務事業評価シート

事務事業コード	015500	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	中山間地域等直接支払事業		所属名	農林水産部	農村整備課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 目標の 施策の 目標の 予算	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成27年度～平成31年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	中山間地域等直接支払交付金 実施要領等
施策	2104	農林水産業の振興				
	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人	予算事業コード	01-05-01-06-04-02
予算	予算事業名	中山間地域等直接支払交付金			予算事業コード	01-05-01-06-04-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中山間地域等において集落等を単位に、5年以上継続して農業生産活動を行う農業者等に交付する交付金
意図 (どのような状態 にするために)	条件不利地の中山間地域で農業生産活動を行う農業者等に対し直接支払いを実施することにより、農業生産活動を継続して耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。
手段 (どうするのか)	協定の締結、履行確認、交付金の交付などを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①協定に対する指導・助言 ②協定内容の確認及び交付金の交付	平成29年度 ①協定に対する指導・助言 ②協定内容の確認及び交付金の交付	平成30年度 ①協定に対する指導・助言 ②協定内容の確認及び交付金の交付	平成31年度 ①協定に対する指導・助言 ②協定内容の確認及び交付金の交付	平成32年度 ①協定に対する指導・助言 ②協定内容の確認及び交付金の交付	
	年度別実績	①協定に対する指導・助言 ②協定内容の確認及び交付金の交付	①協定に対する指導・助言 ②協定内容の確認及び交付金の交付				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	132,530	134,292	0	0	0	
	直接経費 A	109,595	110,795	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	80,372	82,172	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	184	0	0	0
一般財源	29,223	28,439	0	0	0		
人件費 B	22,935	23,497	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	2.90	2.90	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	協定数	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
			協定	目標	133	132	0	0	0	
				実績	133	132	0	0	0	
	(指標の説明) 取り組み団体の協定数									
	2	対象農用地面積	ha	目標	789	794	0	0	0	
				実績	789	794	0	0	0	
(指標の説明) 対象農用地の保全面積										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】総務係 0857-20-3241</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P179（農081）</p> <p>【事業の概要】 条件不利地の中山間地域で農業生産活動を行う農業者等に対し直接支払いを実施することで、農業生産活動を継続して耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。 <対象地域> 特定農山村法、山村振興法、過疎法に指定された地域及び県知事が特に必要と認める地域のうち、急傾斜地（田1/20以上、畑15度以上）及び急傾斜に物理的に連担する緩傾斜（田1/20未満1/100以上、畑15度未満8度以上）で面的まとまりのある農用地等。 <対象者> 集落等を単位とする協定を締結し、5年以上継続して農業生産活動を行う農業者等。 <事業実施期間> 平成27年度より5年間</p> <p>【事業の成果】 平成27年度 106,437千円 平成28年度 109,595千円 平成29年度 110,795千円 （三法地域：国50%、県25%、市25%） （知事特認地域：国33%、県33%、市34%）</p> <p>【今後の課題・方向性】 中山間地域で農業生産活動を行う農業者等を支援することで、農業生産活動の継続と耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。 ※その他財源の諸収入は、集落協定からの返還金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	協定数	100%	100%			
	2	対象農用地面積	100%	100%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	組織の再編、広域化を促し中山間地域の農業の保全を図る。		

事務事業評価シート

事務事業コード	015600	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	農業基盤整備促進事業		所属名	農林水産部	農村整備課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	農業基盤整備促進事業実施要 綱
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 施策の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	農業基盤整備促進事業費			予算事業コード	01-05-01-05-56-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用施設（農道、かんがい施設、ほ場など）
意図 (どのような状態 にするために)	老朽化した農業用施設のきめ細かな整備、大型機械等への対応等とおして農業の省力化、効率化、合理化を図る。またこれらにより生産性の向上、高収益作物の作付けを促し、もって農地集積率の向上、農業競争力を強化する。
手段 (どうするのか)	必要に応じて施設整備工事を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①用排水改修 2箇所 ②頭首工改修 1箇所 ③農道改修 1箇所	平成29年度 ①ほ場整備 1箇所	平成30年度 ①ほ場整備 1箇所 ②用水路改修 1箇所	平成31年度 ①用水路整備 1箇所	平成32年度 ①用水路改修 1箇所	
	年度別実績	①用排水改修 2箇所 ②頭首工改修 1箇所 ③農道改修 1箇所	①ほ場整備 1箇所				
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	26,596	33,915	0	0	0	
	直接経費 A	15,767	22,936	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	10,493	15,710	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	2,808	3,885	0	0	0
一般財源	2,466	3,341	0	0	0		
人件費 B	10,829	10,979	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.50	1.50	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		整備済農業用施設	箇所	目標	3	1	2	1	1
	(指標の説明)		実績	2	1	0	0	0	
2		目標	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	
3		目標	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P176（農076）</p> <p>【事業の概要】 地域の農業において重要な役割を果たしている農業用施設について、老朽化施設の更新、用排水施設の増設等の農業水利施設の整備、暗渠排水等の農地の整備をきめ細かく実施し、排水不良や、用水不足に対応するとともに経営規模の拡大や、戦略作物・地域振興作物の生産を促進し農業所得の向上にも資する。 (6法地域) 負担区分 国55% 県15% 地元15% 市15% (6法地域以外) 負担区分 国50% 県15% 地元20% 市15%</p> <p>【事業の成果】 平成27年度 27,603千円 用水改修4箇所 測量設計3箇所 ほ場改修2箇所 平成28年度 15,767千円 用排水改修2箇所 頭首工改修1箇所 農道改修1箇所 平成29年度 8,307千円 ほ場整備1箇所 (次年度へ2,250千円を繰越)</p> <p>【今後の課題・方向性】 市内全域の農業施設の老朽化は激しく、一部営農活動に支障が出ている箇所もある。今後も老朽化箇所の改修を年次ごとに実施してゆく必要がある。実施箇所を検討しながら農業基盤の整備により農業生産活動の安定化を図っていく。</p> <p>※その他財源の負担金は、地元負担金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	整備済農業用施設	67%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	他事業(鳥取西道路整備)との調整により予定していたほ場整備工事の一部を次年度へ送ったため。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	一部工事を次年度へ見送ったが概ね予定通りに完了する見込みのため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>年々増加する農業施設の改修を効率的に行う必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	015701	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	特定農業用管路等特別対策事業(福部地区)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成24年度 ~ 平成29年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	福部地区特定農業用管路等特別対策事業費			予算事業コード	01-05-01-05-04-24

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	福部町に存する畑地灌漑施設の石綿管水路
意図 (どのような状態 にするために)	石綿に起因する健康被害への影響を未然に防止する。
手段 (どうするのか)	県営事業にて石綿管の更新を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①管路工 1式	平成29年度 ①管路工 1式	平成30年度 《平成29年度で事業完了》	平成31年度 《平成29年度で事業完了》	平成32年度 《平成29年度で事業完了》	
	年度別実績	①管路工 1式	①管路工 1式				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,994	960	0	0	0	
	直接経費 A	5,850	814	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	5,200	700	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	650	114	0	0	0	
人件費 B	144	146	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		管路整備	式	目標	1	1	0	0	0
	(指標の説明)		実績	1	1	0	0	0	
	2	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P170（農063）</p> <p>【事業の概要】 福部地区特定農業用管水路等特別対策事業費 ・事業主体 鳥取県 ・事業年度 平成24年度～平成29年度 ・事業費 570,000千円 ・負担区分 国50% 県34% 市9%（起債充当率90%） 地元2% ・事業内容 石綿管更新 L=7,504m ・受益 戸数：286戸 面積：88ha</p> <p>【事業の成果】 （市負担金額） 平成27年度 9,000千円 管路整備 平成28年度 5,850千円 管路整備 平成29年度 814千円 管路整備</p> <p>【今後の課題・方向性】 県計画に基づき平成29年度まで継続して管路整備を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	管路整備	100%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画通り、事業が完了したため。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	計画通り、目標を達成したため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>平成29年度で事業完了した。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	015702	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	特定農業用管路等特別対策事業(湖山砂丘)		所屬名	農林水産部	農村整備課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成27年度 ~ 平成34年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2104	農林水産業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	湖山砂丘特定農業用管路等特別対策事業費			予算事業コード	01-05-01-05-04-45

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	湖山地区に存在する畑地灌漑施設の石綿管水路
意図 (どのような状態 にするために)	石綿に起因する健康被害への影響を未然に防止する
手段 (どうするのか)	県営事業で石綿管の更新を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①管路工 1式	平成29年度 ①管路工 1式	平成30年度 ①管路工 1式	平成31年度 ①管路工 1式	平成32年度 ①管路工 1式	
	年度別実績	①管路工 1式	①管路工 1式				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	4,520	8,286	0	0	0	
	直接経費 A	4,376	8,140	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	3,900	7,326	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	476	814	0	0	0
人件費 B	144	146	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		施設改修箇所数	式	目標	1	1	1	1	1
	(指標の説明)		実績	1	1	0	0	0	
	2		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
	3		目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P172（農067）</p> <p>【事業の概要】 湖山砂丘特定農業用管水路等特別対策事業費 ・事業主体 鳥取県 ・事業年度 平成27年度～平成34年度 ・事業費 1,450,000千円 ・負担区分 国55% 県34% 市9%（起債充当率90%） 地元2% ・事業内容 石綿管更新 L=5,400m ・受益 戸数：479戸 面積：97.3ha</p> <p>【事業の成果】 （市負担金額） 平成27年度 897千円 平成28年度 4,376千円 管路工 平成29年度 8,140千円 管路工</p> <p>【今後の課題・方向性】 県計画に基づき平成34年度まで継続して管路整備を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	施設改修箇所数	100%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画通り事業の進捗が図られた。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	管路整備を行った区間の機能回復が図られた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>引き続き砂丘農地の要である畑地かんがい施設の更新を進める。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	015800	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	農業農地施設保全合理化事業		所属名	農林水産部	農村整備課	

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成27年度 ~ 平成32年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2104	農林水産業の振興			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	農業用施設保全合理化事業費			予算事業コード	01-05-01-05-60-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	老朽化した用水路などの農業施設
意図 (どのような状態 にするために)	計画的に補修や更新を行う。
手段 (どうするのか)	効率的な更新計画を策定する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①計画策定 2施設	平成29年度 ①計画策定 0施設	平成30年度 ①計画策定 1施設	平成31年度 ①計画策定 1施設	平成32年度 ①計画策定 1施設	
	年度別実績	①計画策定 2施設 ・大出土地改良区(用水路) ・西門通寺排水機場	①計画策定 0施設				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	17,382	366	0	0	0	
	直接経費 A	16,299	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	16,299	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	1,083	366	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.15	0.05	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		計画策定施設数	施設	目標	2	0	1	1	1
		(指標の説明)		実績	2	0	0	0	0
	2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							
	3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要書目次：当初予算（なし）</p> <p>【事業の概要】 老朽化した農業用施設について機能診断や補修計画の策定等を行い、施設維持管理の合理化を進めることで、施設の長寿命化や安全性の向上を図る。不慮の故障や破損を減らすことで安定した農業基盤の保持を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体 鳥取市 ・事業年度 平成27年度～平成32年度 ・負担区分 国100% ・事業費 28,100千円 ・事業内容 農業施設の機能保全計画策定 </p> <p>【事業の成果】 平成27年度 9,468千円 計画策定 <ul style="list-style-type: none"> ・湖東大浜土地改良区(ポンプ施設及び建物) ・大口堰土地改良区(用水路) 平成28年度 16,300千円 機能保全計画策定 <ul style="list-style-type: none"> ・大出土地改良区(用水路) ・西円通寺排水機場 平成29年度 0円</p> <p>【今後の課題・方向性】 策定のした保全計画に基づき農業施設の改築、修繕等の機能保全を行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	計画策定施設数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	平成29年度は事業箇所無しのため。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	保全計画に基づき計画的に施設の改修を行う。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>今後、老朽化の進む施設の効率的な維持管理を行うため、新たな保全計画の策定を検討する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	015900	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業		所属名	農林水産部	農村整備課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成29年度 ~ 平成29年度
	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市とっとり共生の里保全活 動推進事業補助金交付要綱等
	2104	農林水産業の振興			
目標の 種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)	
	3人	15人	運営方法	補助金交付	
	45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計	
	6人	6人	予算事業コード	01-05-01-05-61-01	
予算	予算事業名	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費		予算事業コード	01-05-01-05-61-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	交流活動を通じて農業・農村の保全意識を高め、新たな活動により生産基盤の保全や自立的な農業を行おうと意欲的に取り組む集落地域
意図 (どのような状態 にするために)	農山村ボランティアを始めとし地域貢献に前向きな企業や自治会等、外部サポーターとの協働による低コストかつ持続可能な農業・農村の活性化を目指し、新たな地域ブランド等を創出することで地域振興を図る。
手段 (どうするのか)	①企業との連携協定により農地・用水路・農道などの地域資源保全活動、営農支援を行うとともに、特に6次産業化や特産品開発に必要な経費について、締結協定に対し補助を行う。②都市部の町内会等の組織との協定を締結し、資源維持保全作業や農業体験等を実施する協定に対し補助を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①共生の里推進加速化 事業事業費 600千 円(1協定) ②むら・まち支え合い 共生促進事業 事業費 1,170千 円(3協定)	平成29年度 ①共生の里推進加速化 事業事業費 1,80 0千円(3協定) ②むら・まち支え合い 共生促進事業 事業費 780千円(3協定)	平成30年度 ①共生の里推進加速化 事業事業費 1,50 0千円(3協定) ②むら・まち支え合い 共生促進事業 事業費 195千円(1協定)	平成31年度 ①共生の里推進加速化 事業事業費 1,50 0千円(3協定)	平成32年度 ①共生の里推進加速化 事業事業費 600千 円(2協定)	
	年度別実績	①共生の里推進加速化 事業事業費 600千 円(1協定) ②むら・まち支え合い 共生促進事業 事業費 1,170千 円(3協定)	①共生の里推進加速化 事業事業費 1,80 0千円(3協定) ②むら・まち支え合い 共生促進事業 事業費 780千円(3協定)				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,101	8,435	0	0	0	
	直接経費 A	1,770	2,580	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	1,180	1,720	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	590	860	0	0	0	
人件費 B	4,331	5,855	0	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.60	0.80	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		共生の里推進加速化事業	協定	目標 実績	1 1	3 3	3 0	3 0	2 0	
	(指標の説明)									
	2	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		むら・まち支え合い共生促進事業	協定	目標 実績	3 3	3 3	1 0	0 0	0 0	
	(指標の説明)									
3	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
			目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0		
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 総務係 0857-20-3241</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P178（農080）</p> <p>【事業の概要】 交流活動を通じて農業・農村の保全意識を高め、新たな活動により生産基盤の保全や自立的な農業を行おうと意欲的に取り組む集落地域について、農山村ボランティアを始めとし地域貢献に前向きな企業や自治会等、外部サポーターとの協働による低コストかつ持続可能な農業・農村の活性化を目指し、新たな地域ブランド等を創出することで地域振興を図る。</p> <p>(事業の内容)</p> <p>○共生の里推進加速化事業 <平成29年度> 事業費 1,800千円（3協定） 補助率 県2/3 市1/3 1協定上限600千円</p> <p>○むら・まち支え合い共生促進事業 <平成29年度> 事業費 780千円（3協定） 補助率 県2/3 市1/3 1協定上限390千円</p> <p>【事業の成果】 平成27年度 1,200千円 平成28年度 1,770千円 平成29年度 2,580千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 企業や自治会等、外部サポーターとの協働による低コストかつ持続可能な農業・農村の活性化を目指し、新たな地域ブランド等を創出することで地域振興を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	共生の里推進加速化事業	100%	100%			
	2	むら・まち支え合い共生促進事業	100%	100%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>企業や自治体等、外部サポーターへの参加を促し、農山村での農業・農村の活性化や新たな地域ブランド等の創出を引き続き図っていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	016000	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	耕作放棄地再生推進事業		所属名	農林水産部 農業振興課	

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2104	農林水産業の振興			
目標 の 目 標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	耕作放棄地再生推進事業費		予算事業コード	01-05-01-01-03-10	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	貸借等により耕作放棄地を解消しようとする農業者・団体
意図 (どのような状態 にするために)	農業生産の基盤である農地の確保及びその有効利用を図る。
手段 (どうするのか)	耕作放棄地を再生利用する取り組みやこれに付帯する施設等の整備に対して助成し、農地再生に係る引き受け手の初期投資の軽減を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①耕作放棄地の再生・ 利用に対する支援	平成29年度 ①耕作放棄地の再生・ 利用に対する支援	平成30年度 ①耕作放棄地の再生・ 利用に対する支援	平成31年度 ①耕作放棄地の再生・ 利用に対する支援	平成32年度 ①耕作放棄地の再生・ 利用に対する支援
	年度別実績	①耕作放棄地の再生・ 利用に対する支援 ＜実績＞ 再生面積:72a ・再生筆数5筆 ・取組主体数4件	①耕作放棄地の再生・ 利用に対する支援 ＜実績＞ 再生面積:32a ・再生筆数1筆 ・取組主体数1件			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	1,103	1,212	0	0	0
	直接経費 A	381	480	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	405	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	381	75	0	0	0	
人件費 B	722	732	0	0	0	
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動 指 標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		解消した耕作放棄地の面積	a	目標	300	300	300	300	300
	(指標の説明)		実績	72	32	0	0	0	
	2	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】農政係 0857-20-3393</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P269（各種011）</p> <p>【事業の概要】 本事業は、耕作放棄地を再生利用する取組や、これに附帯する施設等の整備等への支援を通じて、農業生産の基盤である農地の確保及びその有効利用を図ることを目的としている。県と市が連携して本対策と一体的に補助金を交付し、農地再生に係る引き受け手の初期投資の軽減を図る。</p> <p>A) 発生予防・再生作業活動（障害物除去（刈払、抜根等）、深耕、整地、土壌改良） 【定率補助】80/100（※補助事業者負担は事業費の2/10 事業費上限2,000千円）</p> <p>B) 土壌改良、営農定着、経営展開（活動の内容により、補助額は異なる） 【定額補助（10a当たり）】20千円～80千円</p> <p>【事業の成果】 平成27年度 取組主体数：8件（再生筆数：13筆、再生面積146a） 平成28年度 取組主体数：4件（再生筆数：5筆、再生面積72a） 平成29年度 取組主体数：1件（再生筆数：1筆、再生面積32a）</p> <p>【今後の課題・方向性】 耕作放棄地対策の一つとして有効な事業であり、引き続き事業周知に努めていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	解消した耕作放棄地の面積	24%	11%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>①農地中間管理事業が機能してきており、農地の需要が充足してきている、②補助要件が厳しいと左記の2点から実績目標に至っていない。しかし、中山間地を中心に荒廃農地は増加傾向にあり、一つの対策として本事業は有効と考える。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>耕作放棄地対策の一つとして有効な事業であり、引き続き事業周知に努め活用の促進を行っていく。</p>		

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P157(農038)</p> <p>【事業の概要】 適正な森林造成計画を効果的に推進するために必要な補助金を交付し、本市林業の振興を図る。</p> <p>【事業の成果】 平成27年度 24,574千円 間伐・広葉樹植林 319.65ha 平成28年度 22,101千円 間伐・広葉樹植林 325.72ha 平成29年度 21,545千円 間伐・広葉樹植林 318.01ha</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も間伐、広葉樹植林などを支援し、森林整備を進める。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	間伐面積	60%	63%			
	2	広葉樹植林面積	64%	42%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	台風等の豪雨により、作業道の崩壊が各所で発生し、間伐施業に遅れを生じた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>森林吸収源対策の取り組みを進めるため、継続して支援する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	016200	重点施策	しごとづくり	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	間伐搬出支援事業		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
	2104	農林水産業の振興			
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数	3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量	45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数	6人	6人	予算事業コード	01-05-02-02-05-03
予算	予算事業名	間伐搬出支援事業費			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	森林所有者・森林組合等
意図 (どのような状態 にするために)	間伐した木材の搬出を支援し間伐施業の促進とその利用拡大を図る。
手段 (どうするのか)	搬出した間伐材の材積に応じ助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①間伐材搬出に係る経費を助成	平成29年度 ①間伐材搬出に係る経費を助成	平成30年度 ①間伐材搬出に係る経費を助成	平成31年度 ①間伐材搬出に係る経費を助成	平成32年度 ①間伐材搬出に係る経費を助成
	年度別実績	①間伐材搬出支援を実施 ＜実績＞ 搬出量 43,929立米 補助金 21,954,414円	①間伐材搬出支援を実施 ＜実績＞ 搬出量 46,470立米 補助金 23,235,065円			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	25,896	23,967	0	0	0
	直接経費 A	25,174	23,235	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	25,174	23,235	0	0	0	
人件費 B	722	732	0	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		【KPI】木材搬出量	m3		45000	48000	52000	55000	58000	
					実績	43929	46470	0	0	
					(指標の説明) 間伐した木材の搬出量。基準値は平成26年度実績。					
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
				(指標の説明)						
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
				(指標の説明)						

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P157(農038)</p> <p>【事業の概要】 間伐施業の促進と間伐材の利用拡大を図るため、間伐材搬出支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 間伐材搬出支援 (実績) 平成27年度 27,561千円 平成28年度 21,954千円 平成29年度 23,235千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、搬出を支援する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	(KPI)木材搬出量	98%	97%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>適正な森林整備には間伐施業は不可欠であり、支援の継続は必要である。 間伐材は木質バイオマス燃料として需要が高まっており、継続して支援する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	016300	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	竹林整備事業		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数	3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量	45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	竹林整備事業費	予算事業コード	01-05-02-02-05-08	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	手つかずの荒廃竹林
意図 (どのような状態 にするために)	鳥取県森林環境保全税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し、竹林を適正に管理する。
手段 (どうするのか)	アクセス道整備、抜き伐りなどの取り組みを支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①放置竹林整備への助成 ・抜き取り	平成29年度 ①放置竹林整備への助成 ・抜き取り	平成30年度 ①放置竹林整備への助成 ・抜き取り	平成31年度 ①放置竹林整備への助成 ・抜き取り	平成32年度 ①放置竹林整備への助成 ・抜き取り	
	年度別実績	①放置竹林整備への助成を実施 ＜実績＞ 抜き取り面積 4.71ha 補助金額 17,980千円	①放置竹林整備への助成を実施 ＜実績＞ 抜き取り面積 5.98ha 補助金額 19,184千円				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	18,702	19,916	0	0	0	
	直接経費 A	17,980	19,184	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	16,923	18,055	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,057	1,129	0	0	0		
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		抜き伐り	ha	目標	7.35	5.8	5.8	5.8	5.8	
				実績	4.71	5.98	0	0	0	
			(指標の説明)							
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)								
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P158(農039)</p> <p>【事業の概要】 拡大する竹対策として、鳥取県環境保全税を財源に竹林の抜き取り等を実施し、竹林整備に取り組む。</p> <p>【事業の成果】 放置竹林整備の支援を行った。 (実績) 平成27年度 23,437千円 5.31ha (抜き取り) 平成28年度 17,980千円 4.71ha (抜き取り) 平成29年度 19,184千円 5.98ha (抜き取り)</p> <p>【今後の課題・方向性】 放置竹林対策として有効であるため、継続して実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	抜き伐り	64%	103%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>竹林対策を継続するため、鳥取県へ森林環境保全税の確保及び制度の継続を要求する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	016400	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	森づくり作業道整備事業		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

位置づけ の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
	施策	2104	農林水産業の振興			
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m ³	58,000m ³	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	森づくり作業道整備事業費			予算事業コード	01-05-02-02-16-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	森林所有者及び森林組合
意図 (どのような状態 にするために)	森林整備に必要な路網の整備を促進し、低コストで効率的な林業生産活動につなげる。
手段 (どうするのか)	作業道を整備する事業者へ補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①作業道の整備に係る 経費助成	平成29年度 ①作業道の整備に係る 経費助成	平成30年度 ①作業道の整備に係る 経費助成	平成31年度 ①作業道の整備に係る 経費助成	平成32年度 ①作業道の整備に係る 経費助成	
	年度別実績	①作業道の整備に係る 経費助成の実施 <作業道の整備実績> 路線数 71路線 整備距離 39,219m 補助金額 8,683,635円	①作業道の整備に係る 経費助成の実施 <作業道の整備実績> 路線数 54路線 整備距離 29,463m 補助金額 6,253,830円				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	9,406	6,986	0	0	0	
	直接経費 A	8,684	6,254	0	0	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	8,684	6,254	0	0	0
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	作業道整備	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		(指標の説明)	km	目標	56	63	63	63	63
				実績	39,219	29,463	0	0	0
	2			目標	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
	3			目標	0	0	0	0	0
(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0	

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算P159(農041)</p> <p>【事業の概要】 健全な森林の維持管理、作業コスト低減等を図るため、作業道の整備を促進する。 造林作業道整備の補助金(条件付きで普通林17%、保安林5%を上乗せ) ※国、県の補助金と合わせると、補助率85%</p> <p>【事業の成果】 平成27年度 10,351千円 74路線 46,717m 平成28年度 8,684千円 71路線 39,219m 平成29年度 6,254千円 54路線 29,463m</p> <p>【今後の課題・方向性】 国・県の補助事業とあわせて、継続して補助を実施する。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	作業道整備	70%	47%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	度重なる台風及び長雨により、事業進捗が遅れたため

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>森林整備に必要な路網の整備を促進するため、継続して支援を行う。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	016501	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	漁港施設維持管理事業(福部町)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2104	農林水産業の振興			
目標 の 目 標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	施設管理
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	漁港施設維持管理事業費			予算事業コード	01-05-03-02-21-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	岩戸漁港、酒津漁港、船磯漁港、夏泊漁港、青谷漁港、長和瀬漁港の維持管理に関すること
意図 (どのような状態 にするために)	漁港及び関連施設の適正な維持管理を行い、安全安心な漁港利用に寄与する。
手段 (どうするのか)	第1種漁港の管理者として漁港施設の維持管理を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①施設等の維持管理	平成29年度 ①施設等の維持管理	平成30年度 ①施設等の維持管理	平成31年度 ①施設等の維持管理	平成32年度 ①施設等の維持管理	
	年度別実績	①施設等の維持管理	①施設等の維持管理				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	12,348	73,360	0	0	0	
	直接経費 A	10,182	71,164	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	297	7,989	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	54	3,253	0	0	0
	一般財源	9,831	59,922	0	0	0	
人件費 B	2,166	2,196	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	出漁日数(福部町)	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
			日	実績	50	50	50	50	50	
	(指標の説明) 対象漁港の年間出漁日数									
	2	出漁日数(気高町)	日	目標	150	150	150	150	150	
				実績	175	167	0	0	0	
	(指標の説明) 対象漁港の年間出漁日数									
3	出漁日数(青谷町)	日	目標	130	130	130	130	130		
			実績	155	155	0	0	0		
(指標の説明) 対象漁港の年間出漁日数										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P163（農049） 6月補正・P17（農005）</p> <p>【事業の概要】 第1種漁港管理者として漁港及び関連施設を維持管理する。</p> <p>【事業の成果】 1. 出入港等安全安心な漁港利用に寄与した。 ・主な維持管理内容 漁港浚渫（岩戸：300m3、酒津：3,950m3、船磯：16,470m3、 夏泊：1,385m3、長和瀬：834m3） 漁港施設修繕他 一式 2. 過去の推移 事業費 平成27年度 40,985千円（福部：11,815千円、気高：19,178千円、青谷：9,992千円） 平成28年度 58,271千円（福部：10,182千円、気高：27,925千円、青谷：20,164千円） 平成29年度 71,164千円（福部：4,265千円、気高：53,213千円、青谷：13,686千円）</p> <p>【今後の課題・方向性】 漁港施設の機能を維持しつつ、コスト削減を図る必要がある。 ※その他財源の使用料は、漁港施設使用料。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	出漁日数(福部町)	118%	126%			
	2	出漁日数(気高町)	117%	111%			
	3	出漁日数(青谷町)	119%	119%			

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>第1種漁港管理者として、施設の適正な維持管理を行いつつ、コスト削減を図る必要がある。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	016600	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	市民農園設置事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成5年度～全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2104	農林水産業の振興			
目 標 の 種 別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	市民農園設置事業費			予算事業コード	01-05-01-03-03-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	遊休農地及び作物の栽培に取り組みたい市民
意図 (どのような状態 にするために)	遊休農地を農園として貸し出すことにより、農地の有効活用と市民の健全なレクリエーション機会の創出と健康増進を図る
手段 (どうするのか)	市内各地に市民農園を開設

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①市民農園の貸し出し ②市民農園のPR	平成29年度 ①市民農園の貸し出し ②市民農園のPR	平成30年度 ①市民農園の貸し出し ②市民農園のPR	平成31年度 ①市民農園の貸し出し ②市民農園のPR	平成32年度 ①市民農園の貸し出し ②市民農園のPR	
	年度別実績	①市民農園の貸し出し 7地区336区画 ②・市報に掲載 (2月号) ・HP更新 (4月、7月、10月、2月)	①市民農園の貸し出し 7地区331区画 ②・市報に掲載 (2月号) ・HP更新 (4月、9月、12月、2月)				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,195	3,283	0	0	0	
	直接経費 A	3,751	1,819	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	998	900	0	0	0
	一般財源	2,753	919	0	0	0	
人件費 B	1,444	1,464	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	利用率	%	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		目標		90	90	90	90	90		
	実績	85.3	83.4	0	0	0				
	(指標の説明)									
	2	目標	0	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3	目標	0	0	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P143（農009）</p> <p>【事業の概要】 遊休農地の有効活用を図るとともに、農業を通じてレクリエーションの機会を市民に提供する。 鳥取地域7地区（里仁・布勢・滝山・叶・祢宜谷・湖山・吉岡）の農園を希望者に貸し出す。 開設区画数：全397区画（66㎡：97区画、33㎡：300区画）</p> <p>【事業の成果】 市民農園貸出数：7地区331区画/397区画 平成27年度：1,938千円 平成28年度：3,751千円 平成29年度：1,819千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 民間等の開設促進を図っていく。 ※その他財源の諸収入は、市民農園利用料。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	利用率	95%	93%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	年間のスケジュール通りに手続き等の事業が完了した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	利用区画の排水不良のため利用解約する方や、利用者の高齢化による農園離れがあることが原因。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了			<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合			<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了		
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	作付に適した区画の提供と、新規利用者を随時確保するため、HP等を活用しPRを行っていく。							

事務事業評価シート

事務事業コード	016700	重点施策	しごとづくり	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	野生鳥獣被害防止事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	2104	農林水産業の振興			
目標の 種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)	
	3人	15人	運営方法	補助金交付	
	45,000m ³	58,000m ³	会計区分	一般会計	
	6人	6人	予算事業コード	01-05-02-01-07-02	
予算	予算事業名	野生鳥獣被害防止事業費			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	有害鳥獣等による農作物被害等への対策支援。
意図 (どのような状態 にするために)	イノシシ等の被害対策を図ることにより、農林漁業者の生産活動や住民の安全な生活を確保できる。
手段 (どうするのか)	被害防止対策として、侵入防止柵の設置に対する支援、鳥獣個体数減少対策としての捕獲奨励金の交付など。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①侵入防止柵(ワイヤーメッシュ、電気柵) ②捕獲奨励金 ③捕獲檻	①侵入防止柵(ワイヤーメッシュ、電気柵) ②捕獲奨励金 ③捕獲檻	①侵入防止柵(ワイヤーメッシュ、電気柵) ②捕獲奨励金 ③捕獲檻	①侵入防止柵(ワイヤーメッシュ、電気柵) ②捕獲奨励金 ③捕獲檻	①侵入防止柵(ワイヤーメッシュ、電気柵) ②捕獲奨励金 ③捕獲檻	①侵入防止柵(ワイヤーメッシュ、電気柵) ②捕獲奨励金 ③捕獲檻
事業費	年度別実績	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
		103,794	88,679	0	0	0	
事業費	直接経費の財源内訳	事業費(A+B)	63,308	47,815	0	0	0
		直接経費 A	29,675	22,914	0	0	0
		国・県	0	0	0	0	0
		地方債	143	0	0	0	0
		その他	33,490	24,901	0	0	0
一般財源	40,486	40,864	0	0	0		
人件費 B	4.50	4.50	0.00	0.00	0.00		
職員数の内訳	正規職員	4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員						

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	[KPI]狩猟者登録数	人	目標	407
			実績	463	439	0	0	0
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。							
2	[KPI]ニホンジカ捕獲頭数	頭	目標	700	800	800	800	800
			実績	924	1021	0	0	0
	(指標の説明) 実績値は市から奨励金を支払う捕獲頭数と指定管理捕獲等事業(県事業)での捕獲頭数の合算							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥獣対策係 0827-20-3233</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P152（農027）</p> <p>【事業の概要】 イノシシ等による被害防止対策を支援。農業等への被害防止を図り、本市農業振興を図る。 ・捕獲奨励金交付 ・侵入防止柵設置への補助（農業者等で組織する団体） ・狩猟免許取得への補助（第1種銃猟、わな免許新規取得）</p> <p>【事業の成果】 ・捕獲実績 イノシシ1,220頭・アライグマ5頭・シカ652頭・ヌートリア348頭・カラス383羽 ・侵入防止柵（ワイヤーメッシュ、電気柵）L=98,805m ・狩猟免許新規取得等 8名 平成27年度 55,974千円 平成28年度 63,308千円 平成29年度 47,815千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 捕獲個体の利活用が進んでいない。また、野生動物の生息環境の変化等も原因の一つであり、改善策の構築も必要。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	(KPI)狩猟者登録数	114%	105%			
	2	(KPI)ニホンジカ捕獲頭数	132%	128%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	地域からの要望のあった対策には、ほぼ対応できた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	捕獲頭数は、目標値を上回ったが被害が引き続き発生している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>対策の検討（侵入防止柵の効果的な設置方法の普及、管理方法の徹底、捕獲効率のアップ）を行い、被害防止を図る。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	016800	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域米販売拡大支援事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成26年度 ~ 平成30年度
	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
2104	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数	3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量	45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域米販売拡大支援事業費		予算事業コード	01-05-01-03-49-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業協同組合
意図 (どのような状態 にするために)	地域の特色ある米を集荷・出荷する施設であるライスセンターを改修し、高い品質と量を確保し、有利販売を行っていく。
手段 (どうするのか)	老朽化しているライスセンターの再整備を行う経費に対し支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①ライスセンターの再整備1件	平成29年度 ①ライスセンターの再整備1件	平成30年度 ①ライスセンターの再整備1件	平成31年度 《平成30年度で事業完了》	平成32年度 《平成30年度で事業完了》	
	年度別実績	①河原ライスセンターの再整備の実施	①気高・青谷ライスセンターの再整備の実施				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	9,961	10,366	0	0	0	
	直接経費 A	9,600	10,000	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	9,600	10,000	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	
人件費 B	361	366	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		鳥取市内に在るライスセンターの改修	箇所	目標	1	1	1	0	0
	(指標の説明)		実績	1	2	0	0	0	
	2	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P147（農017）</p> <p>【事業の概要】 地域の特別栽培米等特色ある米や安心安全な米の集荷量の増量を図り、地域の『冠米』として産地表示販売を行うことで優良企業との高値取引や直販率のアップに繋げるため、ライスセンターの再整備を行う鳥取いなば農業協同組合に対し支援する。</p> <p>【事業の成果】 鳥取いなば農協：気高・青谷ライスセンター改修 10,000,000円 平成27年度： 3,066千円 平成28年度： 9,600千円 平成29年度：10,000千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 稲作農家が減少していく中、JAグループを主体とした直販率（直接取引）の向上が不可欠であり、JAグループ・行政が一体となって水田経営方針を検討し、耕作放棄地の解消や担い手育成など稲作農業の体質強化を推進していく。</p> <p>※その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	鳥取市内に在るライスセンターの改修	100%	200%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>稲作農家が減少していく中、JAグループを主体とした直販率（直接取引）の向上が不可欠であり、JAグループ・行政が一体となって水田経営方針を検討し、耕作放棄地の解消や担い手育成など稲作農業の体質強化を推進していく。平成30年度をもって終了予定。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	016900	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	園芸産地活力増進事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2104	農林水産業の振興			
目標の 施策の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m ³	58,000m ³	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	園芸産地活力増進事業費			予算事業コード	01-05-01-03-48-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	・農業協同組合、集落、生産者グループ、市が認める農業者（認定就農者は除く）
意図 (どのような状態 にするために)	・地域の特色を生かした特産物の導入や特産品の開発を行い、兼業農家や定年帰農者など新たな担い手の育成を図り、地域の活性化と農地の保全を目指す。
手段 (どうするのか)	・生産体制づくり、販売を目的とした農産物や農産加工品の試作、商品開発、販路開拓、耕作放棄地の再生等に 必要な費用の一部を支援。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①共同機械等への投資支援 ②新技術・新品種導入支援 ③経営多角化支援	平成29年度 ①共同機械等への投資支援 ②新技術・新品種導入支援 ③経営多角化支援	平成30年度 ①共同機械等への投資支援 ②新技術・新品種導入支援 ③経営多角化支援	平成31年度 ①共同機械等への投資支援 ②新技術・新品種導入支援 ③経営多角化支援	平成32年度 ①共同機械等への投資支援 ②新技術・新品種導入支援 ③経営多角化支援	
	年度別実績	①補助:1件 ②補助:5件 ③補助:1件	①補助:0件 ②補助:2件 ③補助:1件				
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	4,840	2,760	0	0	0	
	直接経費 A	4,118	2,028	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,118	2,028	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	増反面積	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			a		40	40	40	40	40
	2	(指標の説明) 園芸品目の作付増反面積	目標		0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0	0
		(指標の説明)	目標		0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0	0
3	(指標の説明)	目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【10次総の施策体制】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P146（農016）</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発展・成長タイプ 主要園芸品目に係る共同機械や出荷調整機械等の導入支援（補助率1/3 補助上限20,000千円/対象者） ○中山間地域等特産物育成タイプ 野菜等の生産体制づくりや新技術や新品種の導入に必要な経費の支援（補助率1/2 補助上限2,000千円/対象者・最長2年間） ○経営多角化タイプ（多角化支援） 大規模稲作農家（概ね20ha以上）が新規園芸作物導入に要する経費等の支援（補助率2/3 補助上限3,000千円/対象者・最長2年間） <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発展・成長タイプ H29実績0件 ○中山間地域等特産物育成タイプ H29実績2件（アスパラガス雨よけ施設・かん水ポンプ） ○経営多角化タイプ（多角化支援） H29実績1件（たまねぎ収穫機・選別機他） <p>【今後の課題・方向性】 今後も県と調整を図りながら継続して実施</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	増反面積	116%	324%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了			<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合			<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了		
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>県と連携を図りながら、計画的に事業を運用していく</p>							

事務事業評価シート

事務事業コード	017000	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域米消費拡大対策事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成14年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2104	農林水産業の振興			
目 標 の 種 別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人	予算事業コード	01-05-01-03-05-01
予算	予算事業名	地域米消費拡大対策事業費			予算事業コード	01-05-01-03-05-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学生
意図 (どのような状態 にするために)	食と農に対する関心を深めさせるとともに、米の消費拡大につなげていく。
手段 (どうするのか)	米づくり体験や収穫物を使用した料理講習を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①学童農園実施委託 ②米料理教室実施	平成29年度 ①学童農園実施委託 ②米料理教室実施	平成30年度 ①学童農園実施委託 ②米料理教室実施	平成31年度 ①学童農園実施委託 ②米料理教室実施	平成32年度 ①学童農園実施委託 ②米料理教室実施
	年度別実績	①学童農園実施委託 実施団体数:25団体 ②米料理教室実施 実施回数:27回	①学童農園実施委託 実施団体数:25団体 ②米料理教室実施 実施回数:25回			
	事業費	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	区分	2,027	2,049	0	0	0
	事業費(A+B)	1,305	1,317	0	0	0
	直接経費 A	369	445	0	0	0
	直接経費の財源内訳	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	936	872	0	0	0
一般財源	722	732	0	0	0	
人件費 B	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	取組小学校数	校	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		実績	25	25	25	25	25		
	2	取組回数	回	目標	25	25	25	25	25
		実績	27	25	0	0	0		
	3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P143（農010）</p> <p>【事業の概要】 学校教育分野で、米の消費拡大及び食育の推進を図るため、小学校で実施される「米づくり体験」、及び「米料理教室」に対して、助成を行う。 (1) 米づくり体験学童農園 委託先：各小学校PTA (2) 米料理教室（米づくり体験学童農園実施校対象） 委託先：鳥取市食育推進委員会</p> <p>【事業の成果】 (1) 米づくり体験学童農園実施校：25校 (2) 米料理教室実施回数：25回 平成27年度：1, 139千円 平成28年度：1, 305千円 平成29年度：1, 317千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 米づくり体験学童農園は、体験した小学生や関わった学校関係者の評価が高く継続して実施する。米料理教室は、実施方法、今後のあり方等について検討を進める。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	取組小学校数	100%	100%			
	2	取組回数	108%	100%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 多くの小学校で取組が進むよう、関係機関と連携をとりながら事業手法を進めていく必要がある。		

事務事業評価シート

事務事業コード	017100	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	地産地消推進の店認証事業		所属名	経済観光部	経済・雇用戦略課	

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2104	農林水産業の振興			
目標 の 目 標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	直営
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	地産地消推進の店認証事業費			予算事業コード	01-05-01-03-26-05

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地元産の農畜産物を積極的に活用する飲食店等
意図 (どのような状態 にするために)	地元農畜産物を活用していることを市民へアピールし、生産と消費の拡大を図る。
手段 (どうするのか)	地産地消の認定及び認定証の交付やHPへの掲載を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画	①地産地消の認定及び認定証の交付やHPへの掲載を行う。	①地産地消の認定及び認定証の交付やHPへの掲載を行う。	①地産地消の認定及び認定証の交付やHPへの掲載を行う。 ②「地産地消の店」認定店更新	①地産地消の認定及び認定証の交付やHPへの掲載を行う。	①地産地消の認定及び認定証の交付やHPへの掲載を行う。
	年度別実績	①「地産地消の店」認定83件	①「地産地消の店」認定84件			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	1,445	1,465	0	0	0
	直接経費 A	1	1	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1	1	0	0	0
人件費 B	1,444	1,464	0	0	0	
職員数の 内訳	正規職員	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	「鳥取市地産地消の店」認定件数	件	目標	90	90	90	90	90
				実績	83	84	0	0	0
	(指標の説明) 26年度認定実績								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249
	【10次総の施策体系】2103
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P106（経005）
	【事業の概要】 地元の農林水産物を市内の飲食店が積極的に活用することにより地産地消を市民にアピールするとともに、生産と消費の拡大を図るため、一定基準を満たした飲食店等を「鳥取市地産地消の店」として認定する。
	【事業の成果】 平成27年度認定店数 86店 平成28年度認定店数 83店 平成29年度認定店数 84店
	【今後の課題・方向性】 地産地消に対する意識を維持・向上させるため、様々な媒体を利用しながら、引き続き、地産地消の店をPRしていく。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	「鳥取市地産地消の店」認定件数	92%	93%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 地域住民の飲食の際に利用していただくことも必要だが、観光客、特に近年入込が増えている外国人観光客に利用してもらえる対策(メニューの多言語化、宿泊施設への売込)を強化を促すことが重要。		

事務事業評価シート

事務事業コード	017200	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	食育アドバイザー派遣事業		所属名	経済観光部	経済・雇用戦略課	

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成15年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2104	農林水産業の振興			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	その他
	木材搬出量		45,000m3	58,000m3	会計区分	一般会計
	新規林業従事者数		6人	6人		
予算	予算事業名	食育アドバイザー派遣事業費			予算事業コード	01-05-01-03-26-04

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	食育アドバイザー
意図 (どのような状態 にするために)	地元農産物や地域の食材を使った伝統料理等に対する理解を深めることにより、食と農林水産業の地産地消の促進を図る。
手段 (どうするのか)	小・中学校等での食育教育への派遣及び公民館主催の料理講習など各種団体が行う地産地消等に関する研修会などに「食育アドバイザー」を派遣する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①「食育アドバイザー」の派遣	平成29年度 ①「食育アドバイザー」の派遣	平成30年度 ①「食育アドバイザー」の派遣	平成31年度 ①「食育アドバイザー」の派遣	平成32年度 ①「食育アドバイザー」の派遣	
	年度別実績	①「食育アドバイザー」の派遣 51件 878名参加	①「食育アドバイザー」の派遣 50件 903名参加				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,707	1,734	0	0	0	
	直接経費 A	263	270	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	74	91	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	189	179	0	0	0
人件費 B	1,444	1,464	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	派遣回数	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
			回	目標	47	47	47	47	47	
				実績	51	50	0	0	0	
	(指標の説明) 平成27年度実績									
	2	研修会等への参加人数	人	目標	846	846	846	846	846	
				実績	878	903	0	0	0	
(指標の説明) 平成26年度実績										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域経済係 0857-20-3249</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P105（経004）</p> <p>【事業の概要】 優れた技術を持つ農林水産業者、農産物加工・地域の食材を使った料理の普及に取り組んでいる人たちを「食育アドバイザー」として選定し、小・中学校や地区公民館が開催する料理教室など食育に関する研修会に講師として派遣し、食と農林水産業への理解を深める。 食育アドバイザー謝礼：派遣1回当たり 5千円/人</p> <p>【事業の成果】 平成27年度 登録人数20人 派遣回数47件 参加人数846人 平成28年度 登録人数17人 派遣回数51件 参加人数878人 平成29年度 登録人数17人 派遣回数50件 参加人数903人</p> <p>【今後の課題・方向性】 食育アドバイザーの登録人数の増大を図りながら事業を継続し、地元食材を活用した伝統料理等への理解を深め、地産地消意識の醸成を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	派遣回数	109%	106%			
	2	研修会等への参加人数	104%	107%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>地産地消の推進は、第1次産業の振興に資することもあり、事業は継続していく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	017301	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	農産物生産振興事業(らっきょう生産振興大会)		所属名	福部町総合支所 福部町総合支所産業建設課

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名 称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2104	農林水産業の振興			
目 標 の 種 別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		3人	15人	運営方法	補助金交付
	木材搬出量		45,000m ³	58,000m ³	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	らっきょう生産振興大会助成事業			予算事業コード	01-05-01-03-31-11

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	らっきょう生産者及び鳥取いなば農協等関係機関。
意図 (どのような状態 にするために)	生産農家やらっきょう情勢が抱えている課題、問題点等の解決策について協議・研修する。併せて、生産者の技術向上及び経営意欲の高揚を促進し、地域特産物の生産振興と産地の維持発展を図る。
手段 (どうするのか)	らっきょう生産振興大会経費の一部を助成。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①らっきょう生産振興大会開催経費助成	平成29年度 ①らっきょう生産振興大会開催経費助成	平成30年度 ①らっきょう生産振興大会開催経費助成	平成31年度 ①らっきょう生産振興大会開催経費助成	平成32年度 ①らっきょう生産振興大会開催経費助成	
	年度別実績	①らっきょう生産振興大会開催経費助成	①らっきょう生産振興大会開催経費助成				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	554	623	0	0	0	
	直接経費 A	193	257	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	193	257	0	0	0
人件費 B	361	366	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		らっきょう栽培面積	ヘクタール	目標	100	100	100	100	100
	(指標の説明)		実績	114	113	0	0	0	
	2	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 福部町総合支所 産業建設課 0857-75-2814</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P263（支所009）</p> <p>【事業の概要】 補助金名：らっきょう生産振興大会助成事業補助金 目的：らっきょう生産振興大会を開催し、生産者を中心に関係機関などが現在抱えている課題、問題点等の解決策について協議・研修することにより、継続的な産地の維持発展を図る。 内容：らっきょう生産振興大会経費の一部を助成。 補助対象者：らっきょう生産者及び鳥取いなば農協等関係機関。</p> <p>【事業の成果】 平成27年度 254千円 平成28年度 193千円 平成29年度 258千円 ・福部砂丘らっきょうが、平成28年3月農林水産省から地理的表示保護制度（GIマーク）に登録された。GIマーク取得は、生産者の自信と生産基盤の強化につながった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取市福部町の特産品である砂丘らっきょうの品質向上と栽培面積の維持発展を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	らっきょう栽培面積	114%	113%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了			<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合			<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了		
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>生産農家やらっきょう情勢が抱えている課題、問題点などの解決策について協議・研修する場としては是非とも必要な事業である。</p>							

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域振興課 0858-88-0211</p> <p>【10次総の施策体系】 2104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P270（支所023）</p> <p>【事業の概要】 佐治地域の秋の収穫祭として、地元の農産物や加工品の販売、郷土芸能の発表等を中心とした「佐治ふるさと祭り」を毎年開催している。総合支所周辺を会場に、地域の団体が構成する実行委員会が主催。佐治地域内外の多くの人の参加があり、佐治地域の秋のイベントとして定着している。</p> <p>【事業の成果】 平成27年度 1,228千円 入込客数 800人 平成28年度 1,283千円 入込客数 1,000人 平成29年度 1,350千円 入込客数 1,000人</p> <p>【今後の課題・方向性】 佐治地域の情報発信・活性化策として、より一層の内容充実を図っていく必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	参加者、来場者数	100%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>「佐治ふるさと祭り」は佐治地域の秋のイベントとして定着している。今後、更に佐治町らしさを高め、また市民ニーズに合わせて継続して改善していく必要がある。</p>		